

## ■保有契約高及び新契約高

## 1. 保有契約高

(単位：件、百万円、%)

区分	件数	前年度末比		金額	前年度末比
		前年度末比	前年度末比		
2021年度末	個人保険	2,186,945	103.3	15,306,117	95.8
	個人年金保険	410,730	95.5	2,006,752	95.4
	<b>個人保険+個人年金保険</b>	<b>2,597,675</b>	<b>102.0</b>	<b>17,312,870</b>	<b>95.8</b>
	団体保険	—	—	11,579,324	98.8
	団体年金保険	—	—	780,934	100.1
2022年度末	個人保険	2,155,313	98.6	14,624,076	95.5
	個人年金保険	394,604	96.1	1,917,453	95.6
	<b>個人保険+個人年金保険</b>	<b>2,549,917</b>	<b>98.2</b>	<b>16,541,530</b>	<b>95.5</b>
	団体保険	—	—	11,063,348	95.5
	団体年金保険	—	—	661,511	84.7

(注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。  
2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

## 2. 新契約高

(単位：件、百万円、%)

区分	件数	前年度比	金額		新契約	転換による純増加	
			前年度比	前年度比			
2021年度	個人保険	223,512	202.1	654,472	120.9	801,720	△ 147,247
	個人年金保険	—	—	△ 857	—	—	△ 857
	<b>個人保険+個人年金保険</b>	<b>223,512</b>	<b>196.3</b>	<b>653,615</b>	<b>117.0</b>	<b>801,720</b>	<b>△ 148,104</b>
	団体保険	—	—	235,502	196.5	235,502	—
	団体年金保険	—	—	1	—	1	—
2022年度	個人保険	142,279	63.7	768,895	117.5	867,571	△ 98,675
	個人年金保険	2,802	—	13,910	—	14,320	△ 409
	<b>個人保険+個人年金保険</b>	<b>145,081</b>	<b>64.9</b>	<b>782,805</b>	<b>119.8</b>	<b>881,891</b>	<b>△ 99,085</b>
	団体保険	—	—	96,241	40.9	96,241	—
	団体年金保険	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。  
2. 新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資です。  
3. 新契約の団体年金保険の金額は、第1回収入保険料です。

## ■年換算保険料

## 1. 保有契約

(単位：百万円、%)

区分	2021年度末		2022年度末	
	前年度末比	前年度末比	前年度末比	前年度末比
個人保険	399,896	100.5	398,878	99.7
個人年金保険	111,972	95.9	107,715	96.2
<b>合計</b>	<b>511,869</b>	<b>99.4</b>	<b>506,594</b>	<b>99.0</b>
うち医療保障・生前給付保障等	142,821	101.2	141,666	99.2

## 2. 新契約

(単位：百万円、%)

区分	2021年度		2022年度	
	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比
個人保険	24,152	131.6	35,040	145.1
個人年金保険	△ 24	—	500	—
<b>合計</b>	<b>24,128</b>	<b>127.0</b>	<b>35,541</b>	<b>147.3</b>
うち医療保障・生前給付保障等	12,405	123.8	8,966	72.3

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。  
2. 医療保障・生前給付保障等については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。  
3. 新契約には、転換による純増加を含んでいます。

## ■個人保険及び個人年金保険契約種類別保有契約高・保有契約年換算保険料

### 1. 個人保険及び個人年金保険契約種類別保有契約高

(単位：百万円)

区 分		保有金額	
		2021 年度末	2022 年度末
死亡保険	終身保険	2,677,498	2,550,900
	定期付終身保険	3,686,144	3,034,718
	定期保険	2,431,736	2,374,466
	<b>その他共計</b>	<b>13,818,440</b>	<b>12,975,104</b>
生死混合保険	養老保険	192,200	174,612
	定期付養老保険	33,438	23,701
	生存給付金付定期保険	56,891	47,945
	<b>その他共計</b>	<b>404,570</b>	<b>357,841</b>
生存保険		1,083,106	1,291,130
年金保険	個人年金保険	2,006,752	1,917,453
災害・疾病関係特約	災害割増特約	291,783	254,495
	傷害特約	1,621,063	1,500,071
	災害入院特約	1,218	1,054
	疾病入院特約	1,198	1,032
	成人病入院特約	2,258	2,134
	総合入院特約	5,130	5,130
	その他条件付入院特約	91,631	93,364

- (注) 1. 個人年金保険の金額は、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。  
 2. 傷害特約の金額は、特定損傷特約の給付金額を含みます。  
 3. 成人病入院特約の金額は、生活習慣病入院特約の入院給付日額を含みます。  
 4. 入院特約の金額は、入院給付金日額等を表します。

### 2. 個人保険及び個人年金保険契約種類別保有契約年換算保険料

(単位：百万円)

区 分		保有契約年換算保険料	
		2021 年度末	2022 年度末
死亡保険	終身保険	74,519	71,563
	定期付終身保険	35,368	30,754
	定期保険	37,973	37,673
	<b>その他共計</b>	<b>306,575</b>	<b>297,939</b>
生死混合保険	養老保険	10,463	9,442
	定期付養老保険	325	219
	生存給付金付定期保険	1,031	896
	<b>その他共計</b>	<b>18,053</b>	<b>16,292</b>
生存保険		75,268	84,647
年金保険	個人年金保険	111,972	107,715

# 商品別保有契約高・新契約高

## 1. 商品別年度末保有契約高

(単位：件、百万円、%)

区 分		2021 年度末				2022 年度末				
		件 数	占 率	金 額	占 率	件 数	占 率	金 額	占 率	
個人保険	死亡保険	無配当保障セレクト保険	676,879	30.9	4,705,016	30.7	715,188	33.3	4,718,583	32.2
		終身保険	275,357	12.6	1,908,504	12.5	260,717	12.1	1,829,477	12.5
		定期付終身保険	316,538	14.5	1,583,171	10.3	303,607	14.1	1,441,763	9.9
		外貨建終身保険	90,325	4.1	502,007	3.3	84,897	3.9	454,378	3.1
		外貨建終身保険(予定利率毎月更改型)	4,447	0.2	25,035	0.2	4,415	0.2	25,606	0.2
		利率変動型積立保険	43,209	2.0	506,118	3.3	34,650	1.6	380,320	2.6
		利率変動型新積立保険	175,402	8.0	1,596,855	10.4	149,497	6.9	1,212,634	8.3
		定期保険	45,605	2.1	658,302	4.3	43,913	2.0	627,022	4.3
		収入保障保険	194	0.0	3,880	0.0	176	0.0	3,334	0.0
		変額保険(終身型)	32,668	1.5	240,290	1.6	31,831	1.5	232,723	1.6
		医療保険	757	0.0	377	0.0	670	0.0	334	0.0
		新医療保険	74,354	3.4	22,988	0.2	67,510	3.1	20,477	0.1
		引受基準緩和型終身医療保険	21,023	1.0	-	-	19,757	0.9	-	-
		無配当感染症入院保障付災害医療保険	98,223	4.5	-	-	77,175	3.6	-	-
		特定疾病保障保険	6,572	0.3	26,374	0.2	6,059	0.3	24,406	0.2
		介護保障定期保険	115	0.0	8,698	0.1	92	0.0	7,523	0.1
		特定疾病保障保険特約	85,524	-	189,021	1.2	78,900	-	174,666	1.2
		介護保障保険特約	39,081	-	133,006	0.9	34,446	-	114,538	0.8
		疾病障害保障保険特約	13,020	-	19,344	0.1	10,633	-	15,882	0.1
		総合障害保障保険特約	464,835	-	1,628,521	10.6	468,169	-	1,644,027	11.2
	災害疾病障害保障保険特約	6,376	-	10,418	0.1	4,837	-	7,837	0.1	
	家族入院特約	11,239	-	48,063	0.3	8,921	-	37,834	0.3	
	養育一時金特約	892	-	2,446	0.0	647	-	1,732	0.0	
	<b>死亡保険計</b>		<b>1,861,668</b>	<b>85.1</b>	<b>13,818,440</b>	<b>90.3</b>	<b>1,800,154</b>	<b>83.5</b>	<b>12,975,104</b>	<b>88.8</b>
	生死混合保険	養老保険	42,855	2.1	192,200	1.3	39,433	1.9	174,612	1.2
		定期付養老保険	2,727	0.1	33,438	0.2	2,017	0.1	23,701	0.2
		生存給付金付定期保険	605	0.0	2,497	0.0	572	0.0	2,372	0.0
		変額保険(有期型)	24	0.0	105	0.0	17	0.0	70	0.0
生存給付金付終身保険(引受基準緩和型)		10,364	0.5	35,718	0.2	9,290	0.4	31,674	0.2	
外貨建終身保険(生存給付金付)		15,932	0.7	56,111	0.4	14,767	0.7	50,477	0.3	
外貨建定期祝金付終身保険		3,005	0.1	30,102	0.2	2,791	0.1	29,360	0.2	
生存給付金付定期保険特約		16,524	-	54,394	0.4	14,463	-	45,573	0.3	
<b>生死混合保険計</b>		<b>75,512</b>	<b>3.5</b>	<b>404,570</b>	<b>2.7</b>	<b>68,887</b>	<b>3.2</b>	<b>357,841</b>	<b>2.4</b>	
生存保険	愛児進学保険	59,194	2.7	111,774	0.7	53,681	2.5	102,421	0.7	
	外貨建生存給付金付特殊養老保険	187,825	8.6	963,777	6.3	229,885	10.7	1,180,591	8.1	
	外貨建学資保険	2,746	0.1	7,554	0.0	2,706	0.1	8,117	0.1	
<b>生存保険計</b>		<b>249,765</b>	<b>11.4</b>	<b>1,083,106</b>	<b>7.0</b>	<b>286,272</b>	<b>13.3</b>	<b>1,291,130</b>	<b>8.8</b>	
<b>個人保険計</b>		<b>2,186,945</b>	<b>100.0</b>	<b>15,306,117</b>	<b>100.0</b>	<b>2,155,313</b>	<b>100.0</b>	<b>14,624,076</b>	<b>100.0</b>	
個人年金保険	個人年金保険	190,752	46.4	973,690	48.5	183,125	46.4	929,235	48.3	
	新・個人年金保険	73,361	17.9	361,448	18.0	71,351	18.1	349,758	18.2	
	変額個人年金保険	28,413	6.9	68,797	3.4	22,655	5.7	54,742	2.9	
	年金保険	185	0.0	574	0.0	154	0.0	475	0.0	
	外貨建個人年金	92,755	22.6	565,439	28.2	88,116	22.3	518,850	27.1	
	利源別配当付家族保障終身年金保険	10,926	2.7	1,702	0.1	9,797	2.5	1,473	0.1	
	終身年金付夫婦保険	6,880	1.7	1,177	0.1	6,246	1.6	1,014	0.1	
	収入保障保険	204	0.0	3,325	0.2	266	0.1	4,075	0.2	
	年金払移行特約	5,964	1.5	22,254	1.1	11,559	2.9	49,345	2.6	
	年金支払特約	535	0.1	2,898	0.1	609	0.2	3,171	0.2	
	生活保障保険特約	755	0.2	5,442	0.3	726	0.2	5,309	0.3	
	<b>個人年金保険計</b>		<b>410,730</b>	<b>100.0</b>	<b>2,006,752</b>	<b>100.0</b>	<b>394,604</b>	<b>100.0</b>	<b>1,917,453</b>	<b>100.0</b>

(単位：件、百万円、%)

区 分		2021 年度末				2022 年度末			
		件 数	占 率	金 額	占 率	件 数	占 率	金 額	占 率
団体 保 険	団体定期保険	4,399,992	30.9	3,163,695	27.3	3,962,238	29.0	2,368,391	21.4
	総合福祉団体定期保険	1,995,911	14.0	4,153,047	35.9	1,948,301	14.3	4,344,199	39.3
	団体信用生命保険	7,842,645	55.1	4,233,714	36.6	7,747,039	56.7	4,322,331	39.1
	団体終身保険	391	0.0	894	0.0	354	0.0	813	0.0
	心身障害者扶養者生命保険	38,496	—	24,960	0.2	37,172	—	24,658	0.2
	年金払特約	2,370	0.0	3,011	0.0	2,234	0.0	2,954	0.0
<b>団体保険計</b>		<b>14,241,309</b>	<b>100.0</b>	<b>11,579,324</b>	<b>100.0</b>	<b>13,660,166</b>	<b>100.0</b>	<b>11,063,348</b>	<b>100.0</b>
団体 年 金 保 険	企業年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—
	新企業年金保険	236,492	32.1	117,047	15.0	234,734	37.5	116,196	17.6
	拠出型企業年金保険	499,440	67.8	478,301	61.2	390,151	62.4	367,868	55.6
	厚生年金基金保険	783	0.1	656	0.1	767	0.1	654	0.1
	国民年金基金保険	—	—	—	—	—	—	—	—
	確定給付企業年金保険	181,790	—	184,928	23.7	175,764	—	176,791	26.7
<b>団体年金保険計</b>		<b>736,715</b>	<b>100.0</b>	<b>780,934</b>	<b>100.0</b>	<b>625,652</b>	<b>100.0</b>	<b>661,511</b>	<b>100.0</b>
財形 保 険	財形貯蓄保険	9,528	90.2	34,728	92.6	8,865	90.2	34,327	93.0
	財形住宅貯蓄積立保険	791	7.5	2,762	7.4	710	7.2	2,534	6.9
	財形給付金保険	248	2.3	17	0.0	257	2.6	19	0.1
	<b>財形保険計</b>		<b>10,567</b>	<b>100.0</b>	<b>37,508</b>	<b>100.0</b>	<b>9,832</b>	<b>100.0</b>	<b>36,881</b>
財形 年 金 保 険	財形年金保険	270	5.1	430	4.0	257	5.2	394	3.9
	財形年金積立保険	5,002	94.9	10,244	96.0	4,718	94.8	9,666	96.1
	<b>財形年金保険計</b>		<b>5,272</b>	<b>100.0</b>	<b>10,674</b>	<b>100.0</b>	<b>4,975</b>	<b>100.0</b>	<b>10,060</b>
医 療 保 障 保 険	医療保障保険（個人型）	8	0.0	0	0.0	5	0.0	0	0.0
	医療保障保険（団体型）	116,296	56.9	41	9.8	47,128	33.6	10	2.5
	医療保障保険（無配当型）	88,172	43.1	383	90.2	93,294	66.4	397	97.5
	<b>医療保障保険計</b>		<b>204,476</b>	<b>100.0</b>	<b>424</b>	<b>100.0</b>	<b>140,427</b>	<b>100.0</b>	<b>407</b>
<b>団体就業不能保障保険</b>		<b>7,918</b>	<b>100.0</b>	<b>500</b>	<b>100.0</b>	<b>7,840</b>	<b>100.0</b>	<b>464</b>	<b>100.0</b>
<b>受再保険</b>		<b>385</b>	<b>100.0</b>	<b>2,847</b>	<b>100.0</b>	<b>384</b>	<b>100.0</b>	<b>3,215</b>	<b>100.0</b>

- (注) 1. 終身保険には、疾病障害保障終身保険、利源別配当付倍額保障終身年金保険、連生終身保険及び一時払退職後終身保険を含みます。ただし、終身保険特約の件数は含みません。  
2. 定期付終身保険には、連生定期保険特約付連生終身保険を含みます。  
3. 特定疾病保障保険、特定疾病保障保険特約及び疾病障害保障保険特約には、終身タイプと定期タイプを含みます。  
4. 介護保障保険特約には、介護保障終身保険特約、介護保障定期保険特約及び介護生活保障特約を含みます。  
5. 総合障害保障保険特約には、総合障害定期保険特約、総合障害終身保険特約及び総合障害生活保障特約を含みます。  
6. 特定疾病保障保険特約、介護保障保険特約、疾病障害保障保険特約、総合障害保障保険特約、災害疾病障害保障保険特約、家族入院特約、養育一時金特約、定期保険特約中  
途付加、生存給付金付定期保険特約、心身障害者扶養者生命保険及び確定給付企業年金保険の件数は、計には含みません。  
7. 団体保険、団体年金保険、財形保険、財形年金保険、医療保障保険、団体就業不能保障保険及び受再保険の件数は、被保険者です。  
8. 個人年金保険、財形年金保険（財形年金積立保険を除く）及び団体保険（年金払特約）の金額は、年金支払開始前契約の年金開始時における年金原資と年金支払開始後契約  
の責任準備金の合計です。  
9. 団体年金保険、財形保険及び財形年金積立保険の金額は、責任準備金を表します。  
10. 医療保障保険の金額は、入院給付日額です。  
11. 団体就業不能保障保険の金額は就業不能保障金月額です。

## 2. 商品別新契約高

(単位：件、百万円、%)

区 分		2021 年度				2022 年度				
		件 数	占 率	金 額	占 率	件 数	占 率	金 額	占 率	
個人 保 険	死 亡 保 険	無配当保障セレクト保険	104,376	46.8	821,229	62.2	71,392	50.2	505,552	43.4
		終身保険	94	0.0	32,244	2.4	109	0.1	23,993	2.1
		外貨建終身保険	1,800	0.8	8,819	0.7	2,089	1.5	9,515	0.8
		外貨建終身保険（予定利率毎月更改型）	—	—	—	—	—	—	—	—
		利率変動型積立保険	—	—	45	0.0	—	—	10	0.0
		利率変動型新積立保険	—	—	379	0.0	—	—	96	0.0
		定期保険	939	0.4	13,699	1.0	973	0.7	12,774	1.1
		無配当感染症入院保障付災害医療保険	98,259	44.0	—	—	4	0.0	—	—

区 分		2021 年度				2022 年度				
		件 数	占 率	金 額	占 率	件 数	占 率	金 額	占 率	
個人保険	死亡保険	特定疾病保障保険特約	8,989	—	21,067	1.6	5,423	—	12,739	1.1
		介護保障保険特約	2,183	—	5,345	0.4	1,338	—	3,256	0.3
		疾病障害保障保険特約	—	—	—	—	—	—	—	—
		総合障害保障保険特約	86,940	—	334,137	25.3	61,108	—	226,931	19.5
		災害疾病障害保障保険特約	3	—	6	0.0	1	—	5	0.0
		家族入院特約	475	—	15	0.0	315	—	6	0.0
		<b>死亡保険計</b>	<b>205,468</b>	<b>92.0</b>	<b>1,236,989</b>	<b>93.6</b>	<b>74,567</b>	<b>52.5</b>	<b>794,879</b>	<b>68.3</b>
	生死混合保険	養老保険	2,080	0.9	8,671	0.7	1,861	1.2	8,330	0.7
		外貨建終身保険(生存給付金付)	—	—	—	—	—	—	—	—
		生存給付金付定期保険特約	471	—	783	0.1	313	—	507	0.0
		<b>生死混合保険計</b>	<b>2,080</b>	<b>0.9</b>	<b>9,454</b>	<b>0.8</b>	<b>1,861</b>	<b>1.2</b>	<b>8,837</b>	<b>0.7</b>
	生存保険	外貨建生存給付金付特殊養老保険	15,964	7.1	74,503	5.6	65,851	46.3	361,558	31.0
		外貨建学資保険	—	—	—	—	—	—	—	—
	<b>生存保険計</b>	<b>15,964</b>	<b>7.1</b>	<b>74,503</b>	<b>5.6</b>	<b>65,851</b>	<b>46.3</b>	<b>361,558</b>	<b>31.0</b>	
	<b>個人保険計</b>	<b>223,512</b>	<b>100.0</b>	<b>1,320,947</b>	<b>100.0</b>	<b>142,279</b>	<b>100.0</b>	<b>1,165,275</b>	<b>100.0</b>	
				(654,472)	—			(768,895)	—	
個人年金保険	年金保険	—	—	—	—	1	0.0	9	0.1	
	外貨建個人年金	—	—	—	—	2,801	100.0	14,310	99.9	
	<b>個人年金保険計</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>2,802</b>	<b>100.0</b>	<b>14,320</b>	<b>100.0</b>	
				(△ 857)	—			(13,910)	—	
団体保険	団体定期保険	9,354	17.2	9,507	4.0	—	—	—	—	
	総合福祉団体定期保険	45,080	82.8	225,993	96.0	22,926	100.0	96,241	100.0	
	団体信用生命保険	8	0.0	0	0.0	—	—	—	—	
	<b>団体保険計</b>	<b>54,442</b>	<b>100.0</b>	<b>235,502</b>	<b>100.0</b>	<b>22,926</b>	<b>100.0</b>	<b>96,241</b>	<b>100.0</b>	
団体年金保険	新企業年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	
	厚生年金基金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	
	確定給付企業年金保険	693	—	1	100.0	—	—	—	—	
	<b>団体年金保険計</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>1</b>	<b>100.0</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	
財形保険	財形貯蓄保険	148	91.9	26	85.1	84	84.8	78	98.0	
	財形住宅貯蓄積立保険	13	8.1	4	14.9	15	15.2	1	2.0	
	<b>財形保険計</b>	<b>161</b>	<b>100.0</b>	<b>30</b>	<b>100.0</b>	<b>99</b>	<b>100.0</b>	<b>79</b>	<b>100.0</b>	
財形年金	財形年金積立保険	85	100.0	5	100.0	82	100.0	2	100.0	
	<b>財形年金保険計</b>	<b>85</b>	<b>100.0</b>	<b>5</b>	<b>100.0</b>	<b>82</b>	<b>100.0</b>	<b>2</b>	<b>100.0</b>	
医療保障保険	医療保障保険(個人型)	—	—	—	—	—	—	—	—	
	医療保障保険(団体型)	—	—	—	—	—	—	—	—	
	医療保障保険(無配当型)	7,146	100.0	25	100.0	2,033	100.0	3	100.0	
	<b>医療保障保険計</b>	<b>7,146</b>	<b>100.0</b>	<b>25</b>	<b>100.0</b>	<b>2,033</b>	<b>100.0</b>	<b>3</b>	<b>100.0</b>	
受再保険		—	—	—	—	—	—	—	—	

- (注) 1. 件数、金額は新契約と転換契約の合計です。ただし、個人保険計、個人年金計の下段の( )内には転換による減少を含みます。  
2. 終身保険には、疾病障害保障終身保険、利源別配当付倍額保障終身年金保険、連生終身保険及び一時払退職後終身保険を含みます。ただし、終身保険特約の件数は含みません。  
3. 特定疾病保障保険、特定疾病保障保険特約及び疾病障害保障保険特約には、終身タイプと定期タイプを含みます。  
4. 介護保障保険特約には、介護保障終身保険特約、介護保障定期保険特約及び介護生活保障特約を含みます。  
5. 総合障害保障保険特約には、総合障害定期保険特約、総合障害終身保険特約及び総合障害生活保障特約を含みます。  
6. 特定疾病保障保険特約、介護保障保険特約、疾病障害保障保険特約、総合障害保障保険特約、災害疾病障害保障保険特約、家族入院特約、養育一時金特約、生存給付金付定期保険特約及び確定給付企業年金保険の件数は、計には含みません。  
7. 団体保険、団体年金保険、財形保険、財形年金保険、医療保障保険及び受再保険の件数は、被保険者です。  
8. 個人年金保険及び財形年金保険(財形年金積立保険を除く)の金額は、年金支払開始時における年金原資です。  
9. 団体年金保険、財形保険及び財形年金積立保険の金額は、第1回収入保険料です。  
10. 医療保障保険の金額は、入院給付日額です。

## ■保障機能別保有契約高

(単位：百万円)

区 分			保有金額	
			2021 年度末	2022 年度末
死亡保障	普通死亡	個人保険	14,223,011	13,332,946
		個人年金保険	2,843	2,400
		団体保険	11,576,312	11,060,394
		団体年金保険	—	—
		<b>その他共計</b>	<b>25,805,015</b>	<b>24,398,956</b>
	災害死亡	個人保険	( 1,916,751)	( 1,757,802)
		個人年金保険	( 831)	( 629)
		団体保険	( 580,477)	( 555,175)
		団体年金保険	( —)	( —)
<b>その他共計</b>		<b>( 2,499,279)</b>	<b>( 2,314,817)</b>	
その他の条件付死亡	個人保険	( —)	( —)	
	個人年金保険	( —)	( —)	
	団体保険	( 442)	( 428)	
	団体年金保険	( —)	( —)	
	<b>その他共計</b>	<b>( 442)</b>	<b>( 428)</b>	
生存保障	満期・生存給付	個人保険	1,083,106	1,291,130
		個人年金保険	1,616,475	1,520,340
		団体保険	59	172
		団体年金保険	—	—
		<b>その他共計</b>	<b>2,704,902</b>	<b>2,816,540</b>
	年金	個人保険	( —)	( —)
		個人年金保険	( 187,607)	( 181,171)
		団体保険	( 398)	( 383)
		団体年金保険	( —)	( —)
<b>その他共計</b>		<b>( 189,044)</b>	<b>( 182,541)</b>	
その他	個人保険	—	—	
	個人年金保険	387,434	394,712	
	団体保険	2,951	2,782	
	団体年金保険	780,934	661,511	
	<b>その他共計</b>	<b>1,214,243</b>	<b>1,101,051</b>	
入院保障	災害入院	個人保険	( 6,820)	( 6,616)
		個人年金保険	( 68)	( 61)
		団体保険	( 305)	( 293)
		団体年金保険	( —)	( —)
		<b>その他共計</b>	<b>( 7,619)</b>	<b>( 7,379)</b>
	疾病入院	個人保険	( 6,799)	( 6,594)
		個人年金保険	( 68)	( 61)
		団体保険	( —)	( —)
		団体年金保険	( —)	( —)
<b>その他共計</b>		<b>( 7,293)</b>	<b>( 7,063)</b>	
その他の条件付入院	個人保険	( 93,834)	( 95,432)	
	個人年金保険	( 73)	( 66)	
	団体保険	( 0)	( 0)	
	団体年金保険	( —)	( —)	
	<b>その他共計</b>	<b>( 93,909)</b>	<b>( 95,499)</b>	

- (注) 1. ( ) 内数値は、主契約の付随保障部分及び特約の保障を表します。ただし、定期特約の普通死亡保障は、主要保障部分に計上しました。  
 2. 生存保障の満期・生存給付欄の個人年金保険、団体保険(年金払特約)の金額は、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資を表します。  
 3. 生存保障の年金欄の金額は、年金年額を表します。  
 4. 生存保障のその他欄の金額は、個人年金保険(年金支払開始後)、団体保険(年金払特約年金支払開始後)、団体年金保険の責任準備金を表します。  
 5. 入院保障欄の金額は、入院給付日額を表します。  
 6. 入院保障の疾病入院のその他共計の金額は、主要保障部分と付随保障部分の合計を表します。

区 分		保有件数	
		2021 年度末	2022 年度末
障害保障	個人保険	693,870	655,660
	個人年金保険	2,793	2,589
	団体保険	1,596,299	1,557,400
	団体年金保険	—	—
	その他共計	<b>2,292,962</b>	<b>2,215,649</b>
手術保障	個人保険	2,872,480	2,785,760
	個人年金保険	28,090	25,400
	団体保険	—	—
	団体年金保険	—	—
	その他共計	<b>2,900,570</b>	<b>2,811,160</b>

## ■契約者配当の状況

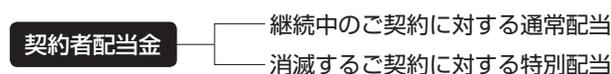
### 1. 契約者配当金のしくみ（個人保険・個人年金保険の場合）

保険料は、過去の実績を参考に、将来の資産運用収益、保険金等の支払い、契約の管理や生命保険事業を維持運営するための事業費支出を見込んだ計算基礎を予め設定し、それに基づいて算出されています。

しかし、一般には、実際の資産運用収益、保険金等の支払い、事業費の支出状況は、予め設定した計算基礎どおりにはならないため、保険料と実際に要する保険費用との間には差が生じます。これが、毎年の決算において差益として算定され、その中から契約者配当金の原資が生じることとなります。

契約者配当金は、保険料の精算として、個々のご契約内容に応じて一定の基準により、この原資を割り当てたものです。

契約者配当金には、継続中のご契約に対する通常配当と、消滅中のご契約に対する特別配当（消滅時特別配当）があります。



継続中のご契約に対する通常配当は、ご契約後3年目以降のご契約に割り当てられます。（なお、5年ごと利差配当付保険についてはご契約後6年目から5年ごとに、3年ごと利差配当付保険についてはご契約後4年目から3年ごとに割り当てられます。）

消滅時特別配当は、所定の年数を経過して満期、死亡、解約などにより消滅中のご契約に割り当てられます。

### 2. 2022年度決算に基づく2023年度契約者配当について

#### (1) 個人保険・個人年金保険

個人保険・個人年金保険の配当金につきましては、前年度に引き続き、継続中のご契約に対する通常配当、ならびに消滅時特別配当を実施することといたしました。契約者配当の水準は、前年度と同一の水準に据え置きます。

#### (2) 団体保険

団体保険の配当金につきましては、前年度と同一の水準に据え置きます。

配当金は各団体の死差益に、その団体の構成員・保険種類等によって異なる配当率を乗じた額です。配当率は、例えば総合福祉団体定期保険では、被保険者数・支払率に応じて14%～98.7%です。

#### (3) 団体年金保険

団体年金保険の配当金につきましては、お支払いを見送らせていただくことといたしました。

#### (4) 財形保険・財形年金保険

財形保険等の配当金につきましては、前年度と同一の水準に据え置き、予定利率に応じて配当率を0%～0.15%といたしました。

### <契約者配当金例示（個人保険・個人年金保険）>

契約者配当金を当社「定期付終身保険」等について例示しますと次のとおりです。

#### ① 毎年配当タイプの場合

##### (例1) 「定期付終身保険」の場合

◇男性、30歳加入、60歳払込満了、年払

◇死亡保険金 保険料払込中 3,000万円 保険料払込満了後 200万円

◇疾病入院特約、災害入院特約 入院給付日額 10,000円

契約年度（経過年数）	継続中の契約		死亡契約 （保険金＋配当金）	備 考
	年払保険料	配当金		
1994年度（29年）	203,146円	34,820円	30,103,095円	大樹ニューTOP 15倍型

(注) 1. 「死亡契約」欄は、契約応当日以後死亡の場合の受取金額を示します。

2. 経過年数とは、2023年4月1日から2024年3月31日の間の契約応当日での経過を示します。

(例2)「養老保険」の場合

◇男性、30歳加入、30年満期、年払、満期保険金100万円

契約年度（経過年数）	継続中の契約		死亡契約 （保険金＋配当金）	備考
	年払保険料	配当金		
1998年度（25年）	27,323円	0円	1,000,000円	ザ・らいふ

(注) 1. 「死亡契約」欄は、契約応当日以後死亡の場合の受取金額を示します。  
2. 経過年数とは、2023年4月1日から2024年3月31日の間の契約応当日での経過を示します。

② 5年ごと利差配当タイプの場合

(例3)「定期付終身保険」の場合

◇男性、30歳加入、60歳払込満了、年払

◇死亡保険金 保険料払込中 3,000万円 保険料払込満了後 200万円

契約年度（経過年数）	継続中の契約		死亡契約 （保険金＋配当金）	備考
	年払保険料	配当金		
1998年度（25年）	154,450円	0円	30,044,890円	大樹 STAR-R 15倍型

(注) 1. 「死亡契約」欄は、契約応当日以後死亡の場合の受取金額を示します。  
2. 経過年数とは、2023年4月1日から2024年3月31日の間の契約応当日での経過を示します。

③ 3年ごと利差配当タイプの場合

(例4)「利率変動型積立保険」の場合

◇男性、30歳加入、終身払込

◇積立保険 年払保険料12,000円

◇定期保険特約（20年更新型）死亡保険金 1,000万円

契約年度（経過年数）	継続中の契約		死亡契約（注4） （保険金＋配当金）	備考
	年払保険料	配当金		
2003年度（20年）	43,070円	8,078円（注3）	10,000,000円	ザ・ベクトル

(注) 1. 「死亡契約」欄は、契約応当日以後死亡の場合の受取金額を示します。  
2. 経過年数とは、2023年4月1日から2024年3月31日の間の契約応当日での経過を示します。  
3. 定期保険特約が更新を迎えるため、消滅時特別配当をお支払いいたします。  
4. 表中に記載の金額の他に、死亡時には、積立金額（災害死亡時は、積立金額の1.1倍相当額）を死亡保険金としてお支払いいたします。

前記の配当金は下記の配当率に基づいております。

通常配当

項目	内容
利差配当	責任準備金に利差配当率を乗じた額です。 前記の契約者配当金例示の場合、利差配当率は次のとおりです。 ① 毎年配当タイプの場合（1994年度契約） （1998年度契約） ② 5年ごと利差配当タイプの場合（1998年度契約） ③ 3年ごと利差配当タイプの場合（2003年度契約）主契約 定期保険特約
費差配当	保険金に、契約年度、保険種類等によって異なる費差配当率を乗じた額です。 さらに、保険種類に応じて保険金額が以下の金額を超える部分に対し、保険金額に応じた費差上乗せ配当率を乗じた額を上乗せいたします。 養老保険・終身保険等…保険金額500万円 定期保険・定期保険特約等…保険金額2,000万円
死差配当	危険保険金（保険金－責任準備金）に、契約年度、保険種類、被保険者の性別、年齢等によって異なる死差配当率を乗じた額です。
災害・疾病関係特約の配当	給付日額あるいは特約保険金額に、契約年度、保険種類、被保険者の性別、年齢等によって異なる配当率を乗じた額です。

消滅時特別配当

所定の年数以上経過して満期、死亡等により消滅するご契約（定期付終身保険の定期保険特約部分等）に対し、保険料〔年額〕に消滅時特別配当率を乗じた額です。

〔毎年配当タイプ〕

通常配当と消滅時配当を合計した金額といたします。

なお、通常配当は、利差配当、費差配当、死差配当及び災害・疾病関係特約の配当を合算し、合計額が負値の場合はその合計額を0といたします。

〔5年ごと利差配当タイプ〕

通常配当と消滅時配当を合計した金額といたします。

なお、通常配当は、利差配当を5年間通算し、合計額が負値の場合はその合計額を0といたします。

[3年ごと利差配当タイプ]

通常配当と消滅時配当を合計した金額といたします。

なお、通常配当は、利差配当を3年間通算し、合計額が負値の場合はその合計額を0といたします。

<ご参考> 2021年度決算に基づく2022年度契約者配当について

(1)個人保険・個人年金保険

個人保険・個人年金保険の配当金につきましては、前年度に引き続き、継続中のご契約に対する通常配当、ならびに消滅時特別配当を実施することといたしました。契約者配当の水準は、前年度と同一の水準に据え置きます。

(2)団体保険

団体保険の配当金につきましては、前年度と同一の水準に据え置きます。

配当金は各団体の死差益に、その団体の構成員・保険種類等によって異なる配当率を乗じた額です。配当率は、例えば総合福祉団体定期保険では、被保険者数・支払率に応じて14%～98.7%です。

(3)団体年金保険

団体年金保険の配当金につきましては、前年度と同一の水準に据え置き、新企業年金保険等の予定利率0.75%のご契約及び確定給付企業年金保険は利差配当率を0.05%とし、拠出型企業年金保険は、お支払いを見送らせていただくことといたしました。

(4)財形保険・財形年金保険

財形保険等の配当金につきましては、前年度と同一の水準に据え置き、予定利率に応じて配当率を0%～0.15%といたしました。

## 4-2 保険契約に関する指標等

### ■保有契約増加率

(単位：%)

区分	2021年度	2022年度
個人保険	△ 4.2	△ 4.5
個人年金保険	△ 4.6	△ 4.4
団体保険	△ 1.2	△ 4.5
団体年金保険	0.1	△ 15.3

### ■新契約平均保険金及び保有契約平均保険金(個人保険)

(単位：千円)

区分	2021年度	2022年度
新契約平均保険金	4,520	7,623
保有契約平均保険金	6,998	6,785

(注) 新契約平均保険金については、転換契約は含みません。

### ■新契約率(対年度始)

(単位：%)

区分	2021年度	2022年度
個人保険	5.0	5.7
個人年金保険	—	0.9
団体保険	2.0	0.8

(注) 1. 転換契約は含みません。

2. 個人年金保険の分母(年度始保有契約高)は、年金開始前契約です。

### ■解約失効率(対年度始)

(単位：%)

区分	2021年度	2022年度
個人保険	6.5	6.3
個人年金保険	3.1	4.4
小計	6.1	6.2
団体保険	1.1	0.8

(注) 1. 個人保険及び個人年金保険は、契約高の減額または増額及び契約復活高により、解約失効高を修正して算出した率を表示しています。

2. 団体保険は、契約高の減額または契約復活高により、解約失効高を修正して算出した率を表示しています。

3. 個人年金保険の分母(年度始保有契約高)は、年金開始前契約です。

〈参考〉

(単位：%)

区 分	2021 年度	2022 年度
個人保険	4.2	4.6
個人年金保険	2.5	4.2
<b>小計</b>	<b>4.1</b>	<b>4.5</b>
団体保険	0.4	0.3

(注) 1. 上表は、解約失効高を単純に年度始保有契約高で除した率を表示しています。  
2. 個人年金保険の分母(年度始保有契約高)は、年金開始前契約です。

■個人保険新契約平均保険料(月払契約)

(単位：円)

区 分	2021 年度	2022 年度
平均保険料	4,964	12,552

(注) 転換契約は含みません。

■死亡率(個人保険主契約)

(単位：%)

区 分	2021 年度	2022 年度
件数率	9.4	10.1
金額率	6.5	7.1

■特約発生率(個人保険)

(単位：%)

区 分		2021 年度	2022 年度
災害死亡保障契約	件数	0.2	0.3
	金額	0.2	0.3
障害保障契約	件数	0.3	0.3
	金額	0.09	0.11
災害入院保障契約	件数	6.9	7.5
	金額	179.8	197.0
疾病入院保障契約	件数	103.8	218.9
	金額	1,608.7	2701.6
成人病入院保障契約	件数	38.1	37.7
	金額	761.4	751.1
疾病・傷害手術保障契約	件数	82.2	87.8
成人病手術保障契約	件数	22.6	22.7

■事業費率(対収入保険料)

(単位：%)

区 分	2021 年度	2022 年度
事業費率	18.9	13.8

■保険契約を再保険に付した場合における、再保険を引き受けた主要な保険会社等の数

(単位：社)

区 分	2021 年度	2022 年度
再保険を引き受けた主要な 保険会社等の数	6 (3)	6 (3)

(注) ( ) 内には、第三分野保険のうち、保険業法施行規則第 71 条に基づいて保険料積立金を積み立てないこととした保険契約を再保険に付した保険会社の数を記載しています。

■保険契約を再保険に付した場合における、再保険を引き受けた保険会社等のうち、支払再保険料の額が大きい上位 5 社に対する支払再保険料の割合

(単位：%)

区 分	2021 年度	2022 年度
支払再保険料の額が大きい上位 5 社に対する支払再保険料の割合	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)

(注) ( ) 内には、第三分野保険のうち、保険業法施行規則第 71 条に基づいて保険料積立金を積み立てないこととした場合の数値を記載しています。

**■保険契約を再保険に付した場合における、再保険を引き受けた主要な保険会社等の格付機関による格付に基づく区分ごとの支払再保険料の割合** (単位：%)

格付区分	2021 年度	2022 年度
Aー以上	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)
その他	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
合計	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)

(注) 1. 格付は、S&P 社によるものに基づき、同社の格付がない場合は AM Best 社の格付を使用しています。  
 上記 2 社のいずれの格付もない場合はその他に区分しています。  
 2. ( ) 内には、第三分野保険のうち、保険業法施行規則第 71 条に基づいて保険料積立金を積み立てないこととした場合の数値を記載しています。

**■未だ収受していない再保険金の額** (単位：百万円)

区 分	2021 年度	2022 年度
未だ収受していない再保険金の額	2 (0)	5 (1)

(注) 1. 貸借対照表上で再保険貸として計上した金額のうち、未収再保険金に相当する額を記載しています。  
 2. ( ) 内には、第三分野保険のうち、保険業法施行規則第 71 条に基づいて保険料積立金を積み立てないこととした保険契約について金額を記載しています。

**■第三分野保険の給付事由の区分ごとの、発生保険金額の経過保険料に対する割合** (単位：%)

区 分	2021 年度	2022 年度
第三分野発生率	38.4	50.2
医療（疾病）	34.5	50.3
がん	35.5	38.4
介護	4.3	13.7
その他	54.4	57.0

(注) 1. 各給付事由区分には以下を計上しています。  
 ①医療（疾病）：新医療保険、疾病入院特約等。  
 ②がん：ガン入院特約、新ガン入院特約等。  
 ③介護：介護保障定期保険、介護保障定期保険特約等。  
 ④その他：①～③以外の医療保障給付、生前給付保障給付を行う主契約及び特約。  
 2. 発生率は以下の算式により算出しています。  

$$\frac{\text{保険金・給付金等の支払額} + \text{対応する支払備金繰入額} + \text{保険金支払いに係る事業費等}}{\text{〔(年度始保有契約年換算保険料} + \text{年度末保有契約年換算保険料) / 2〕}}$$
  
 3. 上記 2 の算式中、支払備金繰入額は、保険業法施行規則第 72 条に定める既発生未報告分を除いています。  
 4. 上記 2 の算式中、保険金支払いに係る事業費等には、損益計算書の事業費のうち、保険金支払いに係る事務経費、人件費、システム経費等を計上しています。

**■法第 121 条第 1 項第 1 号の確認（第三分野保険に係るものに限る。）の合理性及び妥当性**

- 1. 第三分野における責任準備金の積立の適切性を確保するための考え方**  
 「ストレステスト」および「負債十分性テスト」では、法令等に基づき、第三分野保険を対象に、疾病や介護などの保障内容や基礎率ごとに契約区分を設定し、責任準備金の積立が将来の給付を十分まかなえる水準であることを、契約区分ごとに確認しています。
- 2. 負債十分性テスト・ストレステストにおける危険発生率等の設定水準の合理性及び妥当性**  
 計算の前提となる危険発生率については、過去の保険事故発生率の実績等に基づき、将来の保険事故発生率の悪化に関する不確実性を考慮した上で、前述の契約区分ごとに設定しています。
- 3. テストの結果**  
 ストレステストを実施した結果、2022 年度決算において、ストレステストに基づく危険準備金を 379 百万円積み立てています。また、負債十分性テストを実施し、標準責任準備金の積み立てが可能なことを確認しています。

## ■支払備金明細表

(単位：百万円)

区 分		2021 年度末	2022 年度末
保 険 金	死亡保険金	16,846	15,087
	災害保険金	163	204
	高度障害保険金	1,967	2,195
	満期保険金	497	654
	その他	0	—
	<b>小計</b>	<b>19,474</b>	<b>18,140</b>
年金		1,614	1,577
給付金		6,431	6,021
解約返戻金		1,009	1,170
その他返戻金		0	0
保険金据置支払金		1,124	947
<b>その他共計</b>		<b>29,655</b>	<b>27,857</b>

## ■責任準備金明細表

(単位：百万円)

区 分		2021 年度末	2022 年度末
責 任 準 備 金 (除危険準備金)	個人保険	4,317,205	4,404,401
	(一般勘定)	4,249,679	4,341,393
	(特別勘定)	67,526	63,008
	個人年金保険	1,297,984	1,300,092
	(一般勘定)	1,280,709	1,284,634
	(特別勘定)	17,275	15,458
	団体保険	13,940	13,811
	(一般勘定)	13,940	13,811
	(特別勘定)	—	—
	団体年金保険	780,934	661,511
	(一般勘定)	659,237	540,827
	(特別勘定)	121,696	120,683
	その他	48,517	47,277
	(一般勘定)	48,517	47,277
(特別勘定)	—	—	
<b>小計</b>	<b>6,458,583</b>	<b>6,427,096</b>	
(一般勘定)	6,252,085	6,227,945	
(特別勘定)	206,498	199,150	
危険準備金	45,675	48,141	
<b>合計</b>	<b>6,504,259</b>	<b>6,475,237</b>	
(一般勘定)	6,297,760	6,276,087	
(特別勘定)	206,498	199,150	

## ■責任準備金残高の内訳

(単位：百万円)

区分	保険料積立金	未経過保険料	払戻積立金	危険準備金	合計
2021 年度末	6,389,069	69,514	—	45,675	<b>6,504,259</b>
2022 年度末	6,367,281	59,814	—	48,141	<b>6,475,237</b>

## ■個人保険及び個人年金保険の責任準備金の積立方式、積立率、残高(契約年度別)

### 1. 責任準備金の積立方式、積立率

		2021 年度末	2022 年度末
積立方式	標準責任準備金対象契約	平成 8 年大蔵省告示第 48 号に定める方式	平成 8 年大蔵省告示第 48 号に定める方式
	標準責任準備金対象外契約	平準純保険料式	平準純保険料式
積立率(危険準備金を除く)		100.0%	100.0%

- (注) 1. 積立方式及び積立率は、個人保険及び個人年金保険を対象としています。なお、団体保険及び団体年金保険の責任準備金は積立方式という概念がないため、上記には含んでいません。
2. 積立率については、標準責任準備金対象契約に関しては平成 8 年大蔵省告示第 48 号に定める方式により、また、標準責任準備金対象外契約に関しては平準純保険料式により計算した保険料積立金、及び未経過保険料に対する積立率を記載しています。  
 ※平成 8 年大蔵省告示第 48 号に定める方式も「平準純保険料式」です。

### 2. 責任準備金残高(契約年度別)

(単位：百万円、%)

契約年度	責任準備金残高	予定利率
～ 1980 年度	11,457	4.00 ～ 5.00
1981 年度 ～ 1985 年度	120,147	5.00 ～ 6.00
1986 年度 ～ 1990 年度	548,702	5.50 ～ 6.00
1991 年度 ～ 1995 年度	898,494	2.25 ～ 5.50
1996 年度 ～ 2000 年度	422,728	1.75 ～ 2.90
2001 年度 ～ 2005 年度	221,559	1.00 ～ 1.50
2006 年度 ～ 2010 年度	666,152	1.00 ～ 1.50
2011 年度	140,306	1.00 ～ 1.50
2012 年度	166,491	1.00 ～ 1.50
2013 年度	188,903	0.70 ～ 3.20
2014 年度	213,149	0.70 ～ 3.60
2015 年度	200,491	0.50 ～ 3.30
2016 年度	225,039	0.00 ～ 3.30
2017 年度	393,815	0.00 ～ 3.41
2018 年度	427,541	0.00 ～ 3.60
2019 年度	229,105	0.00 ～ 2.91
2020 年度	105,881	0.00 ～ 2.10
2021 年度	143,834	0.00 ～ 2.40
2022 年度	302,225	0.00 ～ 4.30

- (注) 1. 責任準備金残高は、個人保険及び個人年金保険の責任準備金(特別勘定の責任準備金及び危険準備金を除く)を記載しています。
2. 予定利率については、各契約年度別の責任準備金に係る主な予定利率を記載しています。

## ■特別勘定を設けた保険契約であって、保険金等の額を最低保証している保険契約に係る一般勘定の責任準備金残高、算出方法、その計算の基礎となる係数

### 1. 責任準備金残高(一般勘定)

(単位：百万円)

区 分	2021 年度末	2022 年度末
責任準備金残高 (一般勘定)	63	54

- (注) 1. 保険業法施行規則第 68 条に規定する保険契約(標準責任準備金対象契約)を対象としています。
2. 「責任準備金残高(一般勘定)」は最低保証に係る保険料積立金を記載しています。

### 2. 算出方法、その計算の基礎となる係数

#### (1) 算出方法

- ・一時払変額個人年金保険(複数勘定型)、保険金ステップアップ特約を付加しない一時払変額個人年金保険(年金原資額保証型)及び一時払変額終身保険(複数勘定型)、一時払変額個人年金保険(目標到達時定額変型)は平成 8 年大蔵省告示第 48 号第 9 項第 1 号イに定める標準的方式により算出しています。
- ・変額個人年金保険(基本年金額保証型)、保険金ステップアップ特約が付加された一時払変額個人年金保険(年金原資額保証型)及び一時払変額終身保険(複数勘定型)については、代替的方式としてのシナリオテスト方式を採用し、最低保証に係る支出現価から最低保証に係る純保険料の収入現価を控除した額を最低保証に係る保険料積立金としています。その算出にあたっては 1,000 本以上のシナリオを用いて将来予測を行い、その平均値を基に算出しています。

(2) 計算の基礎となる係数

① 予定死亡率

平成8年大蔵省告示第48号第9項第1号口に定める率を使用しています。

② 割引率

平成8年大蔵省告示第48号第9項第1号八に定める率を使用しています。

③ 期待収益率及びボラティリティ

平成8年大蔵省告示第48号第9項第1号二に定める率を使用しています。

(ただし、現預金等のボラティリティについては0.3%、外貨建債券(為替ヘッジあり)のボラティリティについては3.5%を使用しています。)

■契約者配当準備金明細表

(単位：百万円)

区 分		個人保険	個人年金 保険	団体保険	団体年金 保険	財形保険 財形年金保険	その他の 保険	合 計
2021 年度	当期首現在高	37,672	185	16,229	102	61	31	54,283
	利息による増加	8	0	0	—	0	0	9
	配当金支払による減少	2,125	18	11,976	93	9	30	14,253
	当期繰入額	357	6	12,349	95	1	28	12,839
	当期末現在高	35,914 ( 35,375)	173 ( 161)	16,603 ( 4,247)	104 ( —)	53 ( 52)	29 ( 0)	52,878 ( 39,837)
2022 年度	当期首現在高	35,914	173	16,603	104	53	29	52,878
	利息による増加	7	0	0	—	0	0	8
	配当金支払による減少	1,973	16	11,704	97	6	26	13,825
	当期繰入額	304	5	11,247	12	1	23	11,594
	当期末現在高	34,253 ( 33,765)	163 ( 150)	16,145 ( 4,322)	18 ( —)	48 ( 46)	26 ( 0)	50,656 ( 38,284)

(注) ( ) 内はうち積立配当金額です。

■引当金明細表

(単位：百万円)

区 分		2021 年度		2022 年度	
		当期末残高	当期増減(△)額	当期末残高	当期増減(△)額
貸倒引当金	一般貸倒引当金	166	18	143	△ 23
	個別貸倒引当金	247	△ 8	158	△ 88
	特定海外債権引当勘定	—	—	—	—
退職給付引当金		44,256	△ 1,277	43,043	△ 1,212
役員退職慰労引当金		405	△ 23	382	△ 22
価格変動準備金		76,618	3,213	79,780	3,162

(注) 計上の理由及び算定方法については、「注記事項(貸借対照表関係)」に記載しているため省略しています。

■特定海外債権引当勘定の状況

該当ありません。

■資本金等明細表

(単位：百万円)

区 分		当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	摘 要	
2021 年度	資本金	167,280	—	—	167,280		
	うち既発行 株式	普通株式	(10,000株)	—	—	(10,000株)	
		計	167,280	—	—	167,280	
		資本準備金	47,342	—	—	47,342	
	資本剰余金	47,342	—	—	47,342		
2022 年度	資本金	167,280	—	—	167,280		
	うち既発行 株式	普通株式	(10,000株)	—	—	(10,000株)	
		計	167,280	—	—	167,280	
		資本準備金	47,342	—	—	47,342	
	資本剰余金	47,342	—	—	47,342		

## ■保険料明細表

### 1. 払方別保険料明細表

(単位：百万円)

区 分	2021 年度	2022 年度
個人保険	325,719	513,852
（うち一時払）	65,525	260,592
（うち年払）	39,808	37,809
（うち半年払）	1,444	1,323
（うち月払）	218,941	214,126
個人年金保険	49,286	45,494
（うち一時払）	135	139
（うち年払）	6,690	6,209
（うち半年払）	312	291
（うち月払）	42,147	38,854
団体保険	30,275	29,655
団体年金保険	52,989	40,501
その他共計	<b>464,273</b>	<b>635,127</b>

### 2. 収入年度別保険料明細表

(単位：百万円)

区 分		2021 年度	2022 年度
個人保険	初年度保険料	87,396	278,183
	次年度以降保険料	238,323	235,669
	<b>小計</b>	<b>325,719</b>	<b>513,852</b>
個人年金保険	初年度保険料	244	186
	次年度以降保険料	49,041	45,308
	<b>小計</b>	<b>49,286</b>	<b>45,494</b>
団体保険	初年度保険料	351	141
	次年度以降保険料	29,924	29,514
	<b>小計</b>	<b>30,275</b>	<b>29,655</b>
団体年金保険	初年度保険料	19	—
	次年度以降保険料	52,970	40,501
	<b>小計</b>	<b>52,989</b>	<b>40,501</b>
その他共計	初年度保険料	88,163	278,654
	次年度以降保険料	376,110	356,472
	<b>合計</b>	<b>464,273</b>	<b>635,127</b>
	(増加率)(%)	6.07	36.80

## ■保険金明細表

(単位：百万円)

区 分	2021 年度 合 計	2022 年度 合 計	個人保険	個人年金保険	団体保険	団体年金保険	財形保険 財形年金保険	その他の保険
死亡保険金	99,218	107,645	94,288	10	12,983	—	—	363
災害保険金	500	660	600	—	56	—	3	—
高度障害保険金	10,209	10,795	9,709	—	1,084	—	—	1
満期保険金	21,588	18,960	18,500	0	—	—	459	—
その他	0	—	—	—	—	—	—	—
<b>合計</b>	<b>131,517</b>	<b>138,062</b>	<b>123,099</b>	<b>10</b>	<b>14,123</b>	<b>—</b>	<b>462</b>	<b>365</b>

## ■年金明細表

(単位：百万円)

2021 年度 合 計	2022 年度 合 計	個人保険	個人年金保険	団体保険	団体年金保険	財形保険 財形年金保険	その他の保険
<b>96,822</b>	<b>93,255</b>	—	<b>75,000</b>	<b>395</b>	<b>16,872</b>	<b>986</b>	—

## ■給付金明細表

(単位：百万円)

区 分	2021年度 合 計	2022年度 合 計						
			個人保険	個人年金保険	団体保険	団体年金保険	財形保険 財形年金保険	その他の保険
死亡給付金	2,170	2,253	573	1,619	6	—	54	—
入院給付金	19,732	35,774	34,953	124	15	—	—	680
手術給付金	12,949	13,196	12,879	123	—	—	—	194
障害給付金	163	184	175	—	8	—	—	—
生存給付金	13,822	20,695	20,645	0	—	—	49	—
その他	49,609	73,724	2,026	43,304	13	28,378	—	1
<b>合計</b>	<b>98,449</b>	<b>145,828</b>	<b>71,253</b>	<b>45,172</b>	<b>44</b>	<b>28,378</b>	<b>103</b>	<b>876</b>

## ■解約返戻金明細表

(単位：百万円)

2021年度 合 計	2022年度 合 計	個人保険	個人年金保険	団体保険	団体年金保険	財形保険 財形年金保険	その他の保険
108,736	172,706	135,779	19,866	—	13,062	3,998	—

## ■事業費明細表

(単位：百万円)

区 分	2021年度	2022年度
営業活動費	26,280	26,835
営業職員経費	24,775	22,207
募集代理店経費	1,487	4,613
選択経費	17	15
営業管理費	14,476	14,463
募集機関管理費	13,795	13,570
広告宣伝費	681	893
一般管理費	46,802	46,118
人件費	19,492	18,986
物件費	26,728	27,131
うち寄付金・協賛金・諸会費	137	140
拠出金	—	—
負担金	581	1
<b>合計</b>	<b>87,559</b>	<b>87,418</b>

(注) 1. 選択経費の主なものは、保険契約時の診査経費です。

2. 物件費の主なものは、システム関連経費、保険料収納関係経費、資産運用関係経費及び店舗経費です。

## ■税金明細表

(単位：百万円)

区 分	2021年度	2022年度
国税	4,234	4,551
消費税	3,915	4,067
特別法人事業税	252	437
印紙税	65	46
登録免許税	1	0
その他の国税	0	0
地方税	2,895	3,160
地方消費税	1,101	1,145
法人事業税	1,095	1,498
固定資産税	589	409
不動産取得税	—	—
事業所税	107	106
その他の地方税	1	1
<b>合計</b>	<b>7,130</b>	<b>7,712</b>

## ■減価償却費明細表

(単位：百万円、%)

区 分		取得原価	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高	償却累計率
2021年度	有形固定資産	64,506	2,550	45,135	19,371	70.0
	建物	56,452	1,556	39,285	17,167	69.6
	リース資産	48	7	25	22	52.4
	その他の有形固定資産	8,004	986	5,824	2,180	72.8
	無形固定資産	19,825	3,880	9,227	10,597	46.5
	その他	662	90	286	376	43.2
	<b>合計</b>	<b>84,993</b>	<b>6,520</b>	<b>54,648</b>	<b>30,345</b>	<b>64.3</b>
2022年度	有形固定資産	65,328	2,385	47,010	18,317	72.0
	建物	57,051	1,472	40,424	16,627	70.9
	リース資産	44	8	23	20	53.2
	その他の有形固定資産	8,232	904	6,562	1,669	79.7
	無形固定資産	16,885	3,689	8,579	8,305	50.8
	その他	661	89	372	288	56.3
	<b>合計</b>	<b>82,875</b>	<b>6,165</b>	<b>55,963</b>	<b>26,912</b>	<b>67.5</b>

## ■リース取引[通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引]

重要性が乏しいため、記載を省略しています。

## ■借入金等残存期間別残高

(単位：百万円)

区 分		1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超 (期間の定め のないものを 含む)	合 計
2021年度末	借入金	—	—	—	—	—	10,000	10,000
	社債	—	—	—	—	—	90,000	90,000
	売現先勘定	494,066	—	—	—	—	—	494,066
	金融商品等受入担保金	—	—	—	—	—	162	162
2022年度末	借入金	—	—	—	—	—	10,000	10,000
	社債	—	—	—	—	—	90,000	90,000
	売現先勘定	400,118	—	—	—	—	—	400,118
	金融商品等受入担保金	—	—	—	—	—	3,510	3,510

## ■資産運用の概況（一般勘定）

## 1. 運用環境

2022年度の日本経済は、資源価格上昇などの物価高の影響を受けつつも、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進むもとで、個人消費や設備投資が緩やかに増加し、景気は持ち直しの動きが続きました。

国内長期金利（10年国債金利）は、海外金利上昇やイールドカーブ・コントロールの長期金利変動幅の拡大を受けて上昇しました。その結果、長期国債利回りは、前事業年度末の0.21%から当事業年度末は0.32%となりました。

国内株式市場は、米・欧等の金融引締めベースの加速による景気減速への警戒感や国内経済活動再開への期待等による変動がみられましたが、年間を通じると概ね横ばい圏で推移しました。その結果、日経平均株価は、前事業年度末の27,821円から当事業年度末は28,041円となりました。

外国為替市場は、日米金利差の拡大等を背景に円安・ドル高方向の動きとなりました。その結果、ドル／円は、前事業年度末の122.39円から当事業年度末は133.53円となりました。

## 2. 当社の運用方針

インカム収益及び資本の安定的拡大を目指してALM型運用を行っています。具体的には、円建公社債など保険負債の特性にあわせて運用する資産をポートフォリオの中核とし、金利変動の影響を抑制します。そして、リスク許容度の範囲内で、保険負債と異なる通貨建の確定利付資産及び外部委託投信、並びに株式資産及び不動産等への分散投資を行っています。

## 3. 運用実績の概況

当該事業年度は、内外金利差拡大に伴うヘッジコスト上昇を受け、円貨建商品負債に係る外国証券を削減する一方、経済価値ベースの円金利リスク削減の観点から、国内の超長期債への投資を行いました。また、外貨建商品負債に係る外国証券は積み増しました。

資産運用収支関係については、以下のとおりです。

- ・利息及び配当金等収入は、確定利付資産からの利息収入が安定的に推移し、1,325億円となりました。
- ・有価証券に関する売却損益・金融派生商品損益・為替差損益等の資産運用収支関係のキャピタル損益は、合計で△55億円（外貨建商品負債に係る為替差損益と相殺される部分を除くと△122億円）となりました。
- ・そのほか、支払利息・貸付用不動産等減価償却費などが合計で△92億円となりました。

以上の結果、当事業年度の資産運用収支は、合計で1,177億円（外貨建商品負債に係る為替差損益と相殺される部分を除くと1,111億円）となりました。

## 4. ポートフォリオの推移（一般勘定）

## (1)資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	2021年度末		2022年度末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	643,489	8.3	628,745	8.4
買入金銭債権	7,231	0.1	6,724	0.1
有価証券	5,889,026	76.4	5,698,407	76.5
公社債	3,375,137	43.8	3,272,199	43.9
株式	418,188	5.4	412,255	5.5
外国証券	1,948,460	25.3	1,909,203	25.6
公社債	1,800,741	23.4	1,857,294	24.9
株式等	147,719	1.9	51,909	0.7
その他の証券	147,240	1.9	104,749	1.4
貸付金	943,469	12.2	901,328	12.1
保険約款貸付	34,785	0.5	32,311	0.4
一般貸付	908,683	11.8	869,016	11.7
不動産	148,118	1.9	121,912	1.6
繰延税金資産	—	—	26,266	0.4
その他	78,890	1.0	65,596	0.9
貸倒引当金	△414	△0.0	△302	△0.0
<b>合計</b>	<b>7,709,810</b>	<b>100.0</b>	<b>7,448,679</b>	<b>100.0</b>
うち外貨建資産	2,220,308	28.8	2,168,826	29.1

(注)「不動産」については、土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

## (2)資産の増減

(単位：百万円)

区 分	2021 年度	2022 年度
	金 額	金 額
現預金・コールローン	△ 21,337	△ 14,743
買入金銭債権	△ 594	△ 506
有価証券	81,598	△ 190,619
公社債	58,495	△ 102,937
株式	24,190	△ 5,933
外国証券	5,119	△ 39,256
公社債	△ 683	56,553
株式等	5,802	△ 95,809
その他の証券	△ 6,207	△ 42,491
貸付金	△ 38,143	△ 42,140
保険約款貸付	△ 2,981	△ 2,473
一般貸付	△ 35,161	△ 39,667
不動産	△ 78,162	△ 26,206
繰延税金資産	—	26,266
その他	△ 3,772	△ 13,293
貸倒引当金	△ 10	111
<b>合計</b>	<b>△ 60,423</b>	<b>△ 261,131</b>
うち外貨建資産	△ 5,319	△ 51,482

(注)「不動産」については、土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

## ■運用利回り（一般勘定）

(単位：%)

区 分	2021 年度	2022 年度
現預金・コールローン	0.44	0.08
買入金銭債権	3.28	3.35
有価証券	3.80	1.91
うち公社債	2.09	1.96
うち株式	4.81	13.96
うち外国証券	6.90	0.78
うち公社債	7.22	0.10
うち株式等	2.82	15.16
貸付金	1.61	1.33
うち一般貸付	1.48	1.22
不動産	1.72	2.12
<b>一般勘定計</b>	<b>3.10</b>	<b>1.64</b>

(注) 1. 利回り計算式の分母は帳簿価額ベースの日々平均残高、分子は経常損益中、資産運用収益－資産運用費用として算出した利回りです。

2. 運用利回り計算式の分子の資産運用収支には、外貨建保険契約に係る資産の為替変動による為替差損益が含まれていますが、当該損益は、同保険契約に係る負債の為替変動による影響額により相殺され、経常損益には影響を与えていません。この影響を除いた一般勘定の運用利回りは次のとおりです。

(単位：%)

区 分	2021 年度	2022 年度
<b>一般勘定計</b>	<b>1.62</b>	<b>1.55</b>

## ■主要資産の平均残高（一般勘定）

（単位：百万円）

区 分	2021 年度	2022 年度
現預金・コールローン	611,881	610,272
買入金銭債権	7,241	6,796
有価証券	5,402,990	5,423,458
うち公社債	3,276,253	3,314,193
うち株式	198,992	190,939
うち外国証券	1,791,634	1,795,447
うち公社債	1,658,146	1,713,903
うち株式等	133,488	81,543
貸付金	962,984	915,631
うち一般貸付	927,381	882,390
不動産	214,880	140,691
<b>一般勘定計</b>	<b>7,307,799</b>	<b>7,192,277</b>
うち海外投融資	2,092,320	2,052,698

（注）海外投融資とは、外貨建資産と円建資産の合計です。

## ■資産運用収益明細表（一般勘定）

（単位：百万円）

区 分	2021 年度	2022 年度
利息及び配当金等収入	125,170	132,529
有価証券売却益	13,807	50,791
為替差益	152,619	19,511
貸倒引当金戻入額	—	44
その他運用収益	721	9
<b>合計</b>	<b>292,319</b>	<b>202,886</b>

## ■資産運用費用明細表（一般勘定）

（単位：百万円）

区 分	2021 年度	2022 年度
支払利息	1,149	889
有価証券売却損	382	12,647
有価証券評価損	3,281	119
金融派生商品費用	52,237	63,070
貸倒引当金繰入額	15	—
賃貸用不動産等減価償却費	3,188	2,776
その他運用費用	5,747	5,593
<b>合計</b>	<b>66,003</b>	<b>85,097</b>

## ■利息及び配当金等収入明細表（一般勘定）

（単位：百万円）

区 分	2021 年度	2022 年度
預貯金利息	21	21
有価証券利息・配当金	100,014	109,117
うち公社債利息	46,023	46,975
うち株式配当金	12,453	14,370
うち外国証券利息配当金	38,692	47,116
貸付金利息	13,780	12,679
不動産賃貸料	10,645	9,942
<b>その他共計</b>	<b>125,170</b>	<b>132,529</b>

### ■有価証券売却益明細表（一般勘定）

（単位：百万円）

区 分	2021 年度	2022 年度
国債等債券	609	18,210
株式等	1,749	15,819
外国証券	11,448	16,761
その他共計	<b>13,807</b>	<b>50,791</b>

### ■有価証券売却損明細表（一般勘定）

（単位：百万円）

区 分	2021 年度	2022 年度
国債等債券	144	3,705
株式等	187	6,074
外国証券	50	2,868
その他共計	<b>382</b>	<b>12,647</b>

### ■有価証券評価損明細表（一般勘定）

（単位：百万円）

区 分	2021 年度	2022 年度
株式等	3,281	119
その他共計	<b>3,281</b>	<b>119</b>

### ■商品有価証券明細表（一般勘定）

2021 年度末、2022 年度末ともに該当する残高はありません。

### ■商品有価証券売買高（一般勘定）

2021 年度、2022 年度ともに該当する売買高はありません。

### ■有価証券明細表（一般勘定）

（単位：百万円、%）

区 分	2021 年度末		2022 年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
国債	2,535,282	43.1	2,558,992	44.9
地方債	181,717	3.1	182,895	3.2
社債	658,137	11.2	530,310	9.3
うち公社・公団債	354,551	6.0	248,699	4.4
株式	418,188	7.1	412,255	7.2
外国証券	1,948,460	33.1	1,909,203	33.5
公社債	1,800,741	30.6	1,857,294	32.6
株式等	147,719	2.5	51,909	0.9
その他の証券	147,240	2.5	104,749	1.8
合計	<b>5,889,026</b>	<b>100.0</b>	<b>5,698,407</b>	<b>100.0</b>

## ■有価証券残存期間別残高（一般勘定）

（単位：百万円）

区 分		1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超 (期間の定めのないものを含む)	合 計
2021年度末	有価証券	105.350	272.724	270.907	480.469	919.434	3,840.140	5,889.026
	国債	31.910	59.695	27.827	51.751	304.630	2,059.467	2,535.282
	地方債	6.028	15.999	2.671	42.760	19.492	94.765	181.717
	社債	29.900	91.656	54.494	144.828	72.956	264.301	658.137
	株式	—	—	—	—	—	418.188	418.188
	外国証券	37.510	105.373	185.914	241.129	522.354	856.177	1,948.460
	公社債	37.510	105.373	185.914	241.129	522.354	708.458	1,800.741
	株式等	—	—	—	—	—	147.719	147.719
	その他の証券	—	—	—	—	—	147.240	147.240
	買入金銭債権	—	—	—	—	—	7.231	7.231
	譲渡性預金	87.000	—	—	—	—	—	87.000
<b>合計</b>	<b>192.350</b>	<b>272.724</b>	<b>270.907</b>	<b>480.469</b>	<b>919.434</b>	<b>3,847.371</b>	<b>5,983.257</b>	
2022年度末	有価証券	105.689	159.374	349.983	500.503	928.728	3,654.127	5,698.407
	国債	23.327	43.832	21.521	100.079	374.753	1,995.478	2,558.992
	地方債	11.795	6.974	1.002	63.468	10.275	89.380	182.895
	社債	37.592	51.312	87.573	71.955	35.739	246.137	530.310
	株式	—	—	—	—	—	412.255	412.255
	外国証券	32.974	57.255	239.887	265.000	507.961	806.126	1,909.203
	公社債	32.974	57.255	239.887	265.000	507.961	754.216	1,857.294
	株式等	—	—	—	—	—	51.909	51.909
	その他の証券	—	—	—	—	—	104.749	104.749
	買入金銭債権	—	—	—	—	—	6.724	6.724
	譲渡性預金	77.000	—	—	—	—	—	77.000
<b>合計</b>	<b>182.689</b>	<b>159.374</b>	<b>349.983</b>	<b>500.503</b>	<b>928.728</b>	<b>3,660.851</b>	<b>5,782.131</b>	

（注）「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号）に基づく有価証券として取り扱うものを含んでいます。

## ■保有公社債の期末残高利回り（一般勘定）

（単位：％）

区 分	2021年度末	2022年度末
公社債	1.69	1.65
外国公社債	2.85	3.05

## ■業種別株式保有明細表（一般勘定）

（単位：百万円、％）

区 分		2021 年度末		2022 年度末	
		金 額	占 率	金 額	占 率
水産・農林業		—	—	—	—
鉱業		684	0.2	826	0.2
建設業		13,967	3.3	14,561	3.5
製造業	食料品	18,070	4.3	19,030	4.6
	繊維製品	23,244	5.6	27,447	6.7
	パルプ・紙	10,566	2.5	9,420	2.3
	化学	32,817	7.8	31,895	7.7
	医薬品	13	0.0	21	0.0
	石油・石炭製品	4,406	1.1	4,403	1.1
	ゴム製品	30	0.0	30	0.0
	ガラス・土石製品	2,462	0.6	3,028	0.7
	鉄鋼	950	0.2	864	0.2
	非鉄金属	8,614	2.1	11,789	2.9
	金属製品	1,627	0.4	1,566	0.4
	機械	21,726	5.2	18,430	4.5
	電気機器	40,926	9.8	38,355	9.3
	輸送用機器	78,727	18.8	50,748	12.3
	精密機器	1,690	0.4	1,679	0.4
	その他製品	6,056	1.4	7,426	1.8
電気・ガス業		4,305	1.0	4,705	1.1
運輸・情報通信業	陸運業	11,447	2.7	12,256	3.0
	海運業	10,439	2.5	9,940	2.4
	空運業	77	0.0	77	0.0
	倉庫・運輸関連業	4,081	1.0	6,208	1.5
	情報・通信業	200	0.0	253	0.1
商業	卸売業	61,167	14.6	74,573	18.1
	小売業	12,571	3.0	15,052	3.7
金融・保険業	銀行業	12,485	3.0	13,591	3.3
	証券・商品先物取引業	4,449	1.1	4,206	1.0
	保険業	4,111	1.0	4,109	1.0
	その他金融業	4,855	1.2	5,044	1.2
不動産業		19,020	4.5	18,105	4.4
サービス業		2,394	0.6	2,604	0.6
<b>合計</b>		<b>418,188</b>	<b>100.0</b>	<b>412,255</b>	<b>100.0</b>

## ■貸付金明細表（一般勘定）

（単位：百万円、％）

区 分	2021 年度末		2022 年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
保険約款貸付	34,785	3.7	32,311	3.6
保険料振替貸付	4,230	0.4	3,794	0.4
契約者貸付	30,554	3.2	28,517	3.2
一般貸付	908,683	96.3	869,016	96.4
（うち 非居住者貸付）	—	—	—	—
企業貸付	761,474	80.7	721,882	80.1
（うち 国内企業向け）	(761,457)	(80.7)	(721,881)	(80.1)
国・国際機関・政府関係機関貸付	129	0.0	88	0.0
公共団体・公企業貸付	23,821	2.5	23,414	2.6
住宅ローン	13,669	1.4	10,500	1.2
消費者ローン	109,204	11.6	112,806	12.5
その他	385	0.0	325	0.0
合計	<b>943,469</b>	<b>100.0</b>	<b>901,328</b>	<b>100.0</b>

## ■貸付金残存期間別残高（一般勘定）

（単位：百万円）

区 分	1 年以下	1 年超 3 年以下	3 年超 5 年以下	5 年超 7 年以下	7 年超 10 年以下	10 年超 (期間の定めのないものを含む)	合 計
変動金利	4,896	351	285	1,911	2,123	11,818	21,385
固定金利	106,577	135,451	178,563	107,894	139,071	219,739	887,298
一般貸付計	<b>111,473</b>	<b>135,802</b>	<b>178,848</b>	<b>109,805</b>	<b>141,194</b>	<b>231,557</b>	<b>908,683</b>
変動金利	924	146	1,692	184	2,083	8,962	13,993
固定金利	82,039	147,767	148,061	107,182	127,712	242,258	855,023
一般貸付計	<b>82,964</b>	<b>147,913</b>	<b>149,754</b>	<b>107,366</b>	<b>129,796</b>	<b>251,221</b>	<b>869,016</b>

## ■国内企業向け貸付金企業規模別内訳（一般勘定）

（単位：件、百万円、％）

区 分		2021 年度末		2022 年度末	
		金額	占 率	金額	占 率
大企業	貸付先数	72	72.7	73	73.7
	金額	712,828	93.6	673,008	93.2
中堅企業	貸付先数	1	1.0	1	1.0
	金額	500	0.1	500	0.1
中小企業	貸付先数	26	26.3	25	25.3
	金額	48,128	6.3	48,373	6.7
国内企業向け貸付計	貸付先数	<b>99</b>	<b>100.0</b>	<b>99</b>	<b>100.0</b>
	金額	<b>761,457</b>	<b>100.0</b>	<b>721,881</b>	<b>100.0</b>

（注）1. 業種の区分は以下のとおりです。

業 種	①右の②～④を除く全業種		②小売業、飲食業		③サービス業		④卸売業	
大企業	従業員 300 名超 かつ	資本金 10 億円以上	従業員 50 名超 かつ	資本金 10 億円以上	従業員 100 名超 かつ	資本金 10 億円以上	従業員 100 名超 かつ	資本金 10 億円以上
中堅企業		資本金 3 億円超 10 億円未満		資本金 5 千万円超 10 億円未満		資本金 5 千万円超 10 億円未満		資本金 1 億円超 10 億円未満
中小企業		資本金 3 億円以下又は 常用する従業員 300 名以下		資本金 5 千万円以下又は 常用する従業員 50 名以下		資本金 5 千万円以下又は 常用する従業員 100 名以下		資本金 1 億円以下又は 常用する従業員 100 名以下

2. 貸付先数とは、各貸付先を名寄せした結果の債務者数をいい、貸付件数ではありません。

## ■貸付金業種別内訳（一般勘定）

（単位：百万円、％）

区分	2021年度末		2022年度末		
	金額	占率	金額	占率	
国内向け	製造業	98,717	10.9	92,185	10.6
	食料	4,800	0.5	3,100	0.4
	繊維	—	—	—	—
	木材・木製品	—	—	—	—
	パルプ・紙	34,500	3.8	29,500	3.4
	印刷	—	—	—	—
	化学	12,590	1.4	11,450	1.3
	石油・石炭	18,000	2.0	18,000	2.1
	窯業・土石	4,556	0.5	5,966	0.7
	鉄鋼	3,000	0.3	3,000	0.3
	非鉄金属	5,417	0.6	5,417	0.6
	金属製品	—	—	—	—
	はん用・生産用・業務用機械	4,229	0.5	4,102	0.5
	電気機械	6,500	0.7	6,450	0.7
	輸送用機械	5,100	0.6	5,100	0.6
	その他の製造業	25	0.0	100	0.0
	農業、林業	—	—	—	—
	漁業	—	—	—	—
	鉱業、採石業、砂利採取業	45	0.0	45	0.0
	建設業	3,412	0.4	3,264	0.4
	電気・ガス・熱供給・水道業	70,215	7.7	80,579	9.3
	情報通信業	20,000	2.2	20,000	2.3
	運輸業、郵便業	40,009	4.4	41,753	4.8
卸売業	221,147	24.3	206,137	23.7	
小売業	—	—	—	—	
金融業、保険業	219,414	24.1	186,110	21.4	
不動産業	100,505	11.1	102,266	11.8	
物品賃貸業	8,105	0.9	9,622	1.1	
学術研究、専門・技術サービス業	—	—	—	—	
宿泊業	—	—	—	—	
飲食業	—	—	—	—	
生活関連サービス業、娯楽業	—	—	—	—	
教育、学習支援業	—	—	—	—	
医療・福祉	385	0.0	325	0.0	
その他のサービス	15	0.0	6	0.0	
地方公共団体	3,821	0.4	3,414	0.4	
個人（住宅・消費・納税資金等）	122,873	13.5	123,306	14.2	
その他	16	0.0	0	0.0	
<b>合計</b>	<b>908,683</b>	<b>100.0</b>	<b>869,016</b>	<b>100.0</b>	
海外向け	政府等	—	—	—	—
	金融機関	—	—	—	—
	商工業等	—	—	—	—
	<b>合計</b>	—	—	—	—
<b>一般貸付計</b>	<b>908,683</b>	<b>100.0</b>	<b>869,016</b>	<b>100.0</b>	

## ■貸付金使途別内訳（一般勘定）

（単位：百万円、％）

区分	2021年度末		2022年度末	
	金額	占率	金額	占率
設備資金	59,297	7.5	65,340	8.8
運転資金	726,513	92.5	680,369	91.2

## ■貸付金地域別内訳（一般勘定）

（単位：百万円、％）

区 分	2021 年度末		2022 年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
北海道	4,500	0.6	4,500	0.6
東北	6,317	0.8	8,817	1.2
関東	649,295	82.6	599,598	80.4
中部	85,689	10.9	85,443	11.5
近畿	22,149	2.8	31,596	4.2
中国	2,130	0.3	2,110	0.3
四国	3,500	0.4	1,500	0.2
九州	12,228	1.6	12,143	1.6
<b>合計</b>	<b>785,810</b>	<b>100.0</b>	<b>745,709</b>	<b>100.0</b>

（注）1. 住宅ローン、消費者ローン、非居住者貸付、保険約款貸付等は含んでいません。  
2. 地域区分は、貸付先の本社所在地によります。

## ■貸付金担保別内訳（一般勘定）

（単位：百万円、％）

区 分	2021 年度末		2022 年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
担保貸付	501	0.1	425	0.0
有価証券担保貸付	—	—	—	—
不動産・動産・財団担保貸付	501	0.1	425	0.0
指名債権担保貸付	—	—	—	—
保証貸付	3,189	0.4	2,957	0.3
信用貸付	782,119	86.1	742,326	85.4
その他	122,873	13.5	123,306	14.2
<b>一般貸付計</b>	<b>908,683</b>	<b>100.0</b>	<b>869,016</b>	<b>100.0</b>
うち劣後特約付貸付	180,000	19.8	145,000	16.7

## ■有形固定資産明細表（一般勘定）

### 1. 有形固定資産の明細

（単位：百万円、％）

区 分	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期償却額	当期末残高	減価償却累計額	償却累計率
2021年度	土地	163,788	—	68,988 (23,997)	—	94,799	—
	建物	62,421	3,607	8,446 (3,886)	4,520	53,061	144,432
	リース資産	10	19	—	7	22	25
	建設仮勘定	70	3,387	3,201	—	256	—
	その他の有形固定資産	3,838	641	90	1,255	3,134	13,009
	<b>合計</b>	<b>230,130</b>	<b>7,656</b>	<b>80,727</b> (27,883)	<b>5,783</b>	<b>151,275</b>	<b>157,467</b>
うち賃貸等不動産	160,863	2,850	50,927 (21,075)	2,924	109,861	105,298	48.9
2022年度	土地	94,799	—	18,475 (65)	—	76,324	—
	建物	53,061	2,604	6,092 (166)	4,032	45,541	116,433
	リース資産	22	6	—	8	20	23
	建設仮勘定	256	3,330	3,540	—	46	—
	その他の有形固定資産	3,134	471	55 (5)	1,130	2,420	13,537
	<b>合計</b>	<b>151,275</b>	<b>6,413</b>	<b>28,164</b> (236)	<b>5,170</b>	<b>124,353</b>	<b>129,994</b>
うち賃貸等不動産	109,861	1,789	25,002	2,553	84,095	76,024	47.5

（注）1. 「当期減少額」の（ ）書きは、減損損失による減少額を内書きにしたものです。  
2. 「償却累計率」は、取得価額に対する減価償却累計額の割合を示します。

## 2. 不動産残高及び賃貸用ビル保有数

(単位：百万円)

区 分	2021 年度末	2022 年度末
不動産残高	148,118	121,912
営業用	40,246	37,817
賃貸用	107,872	84,095
賃貸用ビル保有数	53 棟	51 棟

### ■無形固定資産明細表（一般勘定）

(単位：百万円、%)

区 分	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期償却額	当期末残高	減価償却累計額	償却累計率
2021年度	ソフトウェア	7,914	6,563	0	3,880	10,597	46.5
	その他の無形固定資産	6,089	3,490	7,084	0	2,495	0.0
	<b>合計</b>	<b>14,004</b>	<b>10,053</b>	<b>7,085</b>	<b>3,880</b>	<b>13,092</b>	<b>41.3</b>
2022年度	ソフトウェア	10,597	1,403	5	3,689	8,305	50.8
	その他の無形固定資産	2,495	3,259	1,426	0	4,327	0.0
	<b>合計</b>	<b>13,092</b>	<b>4,662</b>	<b>1,432</b>	<b>3,689</b>	<b>12,633</b>	<b>40.4</b>

(注)「償却累計率」は、取得価額に対する減価償却累計額の割合を示します。

### ■固定資産等処分益明細表（一般勘定）

(単位：百万円)

区 分	2021 年度	2022 年度
有形固定資産	14,032	1,702
土地	8,279	1,168
建物	5,753	534
その他	0	—
無形固定資産	—	—
その他	—	—
<b>合計</b>	<b>14,032</b>	<b>1,702</b>
うち賃貸等不動産	9,926	1,702

### ■固定資産等処分損明細表（一般勘定）

(単位：百万円)

区 分	2021 年度	2022 年度
有形固定資産	348	1,326
土地	68	469
建物	274	855
その他	4	1
無形固定資産	0	84
その他	4	3
<b>合計</b>	<b>353</b>	<b>1,413</b>
うち賃貸等不動産	310	1,117

### ■賃貸用不動産等減価償却費明細表（一般勘定）

(単位：百万円、%)

区 分	取得原価	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高	償却累計率	
2021年度	有形固定資産	149,117	3,189	112,332	36,785	75.3
	建物	141,041	2,924	105,147	35,894	74.6
	リース資産	—	—	—	—	—
	その他の有形固定資産	8,075	265	7,184	890	89.0
	無形固定資産	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
<b>合計</b>	<b>149,116</b>	<b>3,189</b>	<b>112,332</b>	<b>36,785</b>	<b>75.3</b>	
2022年度	有形固定資産	112,585	2,776	82,983	29,601	73.7
	建物	104,923	2,552	76,009	28,914	72.4
	リース資産	—	—	—	—	—
	その他の有形固定資産	7,662	224	6,974	687	91.0
	無形固定資産	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
<b>合計</b>	<b>112,585</b>	<b>2,776</b>	<b>82,983</b>	<b>29,601</b>	<b>73.7</b>	

## ■海外投融資の状況（一般勘定）

### 1. 資産別明細

（単位：百万円、%）

区 分	2021 年度末		2022 年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
外貨建資産	2,220,308	94.0	2,118,740	95.4
公社債	2,037,464	86.2	2,026,491	91.2
株式	—	—	—	—
現預金・その他	182,844	7.7	92,249	4.2
円貨額が確定した外貨建資産	2,999	0.1	2,978	0.1
公社債	—	—	—	—
現預金・その他	2,999	0.1	2,978	0.1
円貨建資産	139,683	5.9	99,333	4.5
非居住者貸付	—	—	—	—
公社債（円建外債）・その他	139,683	5.9	99,333	4.5
<b>合計</b>	<b>2,362,992</b>	<b>100.0</b>	<b>2,221,052</b>	<b>100.0</b>

（注）「円貨額が確定した外貨建資産」は、為替予約が付されていることにより決済時の円貨額が確定し、当該円貨額を資産の貸借対照表価額としているものです。

### 2. 地域別構成

（単位：百万円、%）

区 分	外国証券						非居住者貸付		
	外国証券		公社債		株式等		金 額	占 率	
	金 額	占 率	金 額	占 率	金 額	占 率	金 額	占 率	
2021 年度末	北米	420,987	21.6	403,002	22.4	17,985	12.2	—	—
	ヨーロッパ	851,934	43.7	727,648	40.4	124,286	84.1	—	—
	オセアニア	474,862	24.4	474,862	26.4	—	—	—	—
	アジア	5,447	0.3	—	—	5,447	3.7	—	—
	中南米	—	—	—	—	—	—	—	—
	中東	—	—	—	—	—	—	—	—
	アフリカ	—	—	—	—	—	—	—	—
	国際機関	195,227	10.0	195,227	10.8	—	—	—	—
	<b>合計</b>	<b>1,948,460</b>	<b>100.0</b>	<b>1,800,741</b>	<b>100.0</b>	<b>147,719</b>	<b>100.0</b>	—	—
2022 年度末	北米	441,881	23.1	436,510	23.5	5,370	10.3	—	—
	ヨーロッパ	638,898	33.5	592,359	31.9	46,538	89.7	—	—
	オセアニア	623,694	32.7	623,694	33.6	—	—	—	—
	アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
	中南米	—	—	—	—	—	—	—	—
	中東	—	—	—	—	—	—	—	—
	アフリカ	—	—	—	—	—	—	—	—
	国際機関	204,728	10.7	204,728	11.0	—	—	—	—
	<b>合計</b>	<b>1,909,203</b>	<b>100.0</b>	<b>1,857,294</b>	<b>100.0</b>	<b>51,909</b>	<b>100.0</b>	—	—

### 3. 外貨建資産の通貨別構成

（単位：百万円、%）

区 分	2021 年度末		2022 年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
豪ドル	888,244	40.0	1,038,006	49.0
米ドル	676,173	30.5	551,980	26.1
ユーロ	655,870	29.5	528,731	25.0
スイスフラン	17	0.0	18	0.0
その他	3	0.0	3	0.0
<b>合計</b>	<b>2,220,308</b>	<b>100.0</b>	<b>2,118,740</b>	<b>100.0</b>

## ■海外投融資利回り（一般勘定）

（単位：％）

区 分	2021 年度	2022 年度
海外投融資利回り	7.49	1.79

（注）1. 海外投融資とは、外貨建資産と円建資産の合計です。

2. 運用利回り計算式の分子の資産運用収支には、外貨建保険契約に係る資産の為替変動による為替差損益が含まれていますが、当該損益は、同保険契約に係る負債の為替変動による影響額により相殺され、経常損益には影響を与えていません。この影響を除いた一般勘定の海外投融資に係る運用利回りは次のとおりです。

（単位：％）

区 分	2021 年度	2022 年度
海外投融資利回り	2.32	1.47

## ■公共関係投融資の概況（新規引受額、貸出額）（一般勘定）

（単位：百万円）

区 分		2021 年度	2022 年度
		金 額	金 額
公共債	国債	—	—
	地方債	—	—
	公社・公団債	126	125
	小計	126	125
貸付	政府関係機関	129	88
	公共団体・公企業	—	—
	小計	129	88
合計		255	213

## ■各種ローン金利（一般勘定）

当社における一般貸付の金利は、市場金利実勢を反映して決定されています。

## ■その他の資産明細表（一般勘定）

（単位：百万円）

資産の種類		取得原価	当期増加額	当期減少額	減価償却累計額	当期末残高
2021年度	繰延資産	616	258	212	286	376
	その他	1,609	24,695	19,918	—	6,387
	合計	2,226	24,954	20,130	286	6,763
2022年度	繰延資産	662	5	6	372	288
	その他	6,387	44,858	50,402	—	843
	合計	7,049	44,864	50,409	372	1,132

（注）1. 非償却資産の取得原価には、当期首残高を記載しています。

2. 「繰延資産」は、法人税法上の繰延資産を含めて記載しています。

## ■有価証券の時価情報（一般勘定）

## 1. 売買目的有価証券の評価損益

2021年度末、2022年度末ともに該当する評価損益はありません。

## 2. 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外）

（単位：百万円）

区 分	2021 年度末								
	帳簿価額	時 価	差損益	(時価－帳簿価額)		損益計算書 計上後価額	差損益	(時価－損益計算書計上後価額)	
				差益	差損			差益	差損
満期保有目的の債券	3,836	4,104	268	268	－	3,836	268	268	－
公社債	1,669	1,788	118	118	－	1,669	118	118	－
買入金銭債権	2,166	2,315	149	149	－	2,166	149	149	－
責任準備金対応債券	2,679,835	2,924,916	245,080	275,152	30,071	2,713,506	211,409	258,373	46,964
公社債	2,386,609	2,615,136	228,526	258,320	29,794	2,387,600	227,535	257,832	30,296
外国公社債	293,226	309,780	16,553	16,831	277	325,905	△ 16,125	541	16,667
子会社・関連会社株式	－	－	－	－	－	－	－	－	－
其他有価証券	2,861,100	3,256,740	395,639	412,117	16,477	3,034,420	222,319	291,180	68,861
公社債	938,886	985,866	46,980	51,407	4,426	962,322	23,544	32,819	9,275
株式	186,293	409,894	223,601	225,855	2,253	186,293	223,601	225,855	2,253
外国証券	1,501,364	1,622,554	121,189	124,312	3,123	1,651,248	△ 28,694	21,963	50,658
公社債	1,363,380	1,474,835	111,454	114,566	3,111	1,513,264	△ 38,429	12,217	50,647
株式等	137,984	147,719	9,734	9,746	11	137,984	9,734	9,746	11
その他の証券	142,739	146,359	3,620	10,294	6,674	142,739	3,620	10,294	6,674
買入金銭債権	4,816	5,064	247	247	－	4,816	247	247	－
譲渡性預金	87,000	87,000	－	－	－	87,000	－	－	－
<b>合計</b>	<b>5,544,772</b>	<b>6,185,760</b>	<b>640,988</b>	<b>687,537</b>	<b>46,549</b>	<b>5,751,763</b>	<b>433,997</b>	<b>549,822</b>	<b>115,825</b>
公社債	3,327,165	3,602,790	275,625	309,846	34,221	3,351,593	251,197	290,769	39,571
株式	186,293	409,894	223,601	225,855	2,253	186,293	223,601	225,855	2,253
外国証券	1,794,591	1,932,334	137,743	141,144	3,400	1,977,154	△ 44,819	22,505	67,325
公社債	1,656,606	1,784,615	128,008	131,398	3,389	1,839,170	△ 54,554	12,759	67,314
株式等	137,984	147,719	9,734	9,746	11	137,984	9,734	9,746	11
その他の証券	142,739	146,359	3,620	10,294	6,674	142,739	3,620	10,294	6,674
買入金銭債権	6,983	7,380	397	397	－	6,983	397	397	－
譲渡性預金	87,000	87,000	－	－	－	87,000	－	－	－

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。  
 2. 外貨建責任準備金対応債券に係る換算差額 33,670 百万円、及び外貨建其他有価証券のうち債券に係る換算差額の一部 173,320 百万円については、為替差損益として損益計算書に計上しています。  
 3. 市場価格のない株式等および組合等は本表から除いています。

(単位：百万円)

区 分	2022 年度末								
	帳簿価額	時 価	差損益	(時価－帳簿価額)		損益計算書 計上後価額	差損益	(時価－損益計算書計上後価額)	
				差益	差損			差益	差損
満期保有目的の債券	2,894	3,082	187	187	－	2,894	187	187	－
公社債	860	942	81	81	－	860	81	81	－
買入金銭債権	2,034	2,140	106	106	－	2,034	106	106	－
責任準備金対応債券	3,117,520	3,219,609	102,088	191,255	89,167	3,144,993	74,615	184,632	110,016
公社債	2,579,594	2,684,932	105,337	182,524	77,186	2,581,129	103,803	181,908	78,104
外国公社債	537,925	534,676	△ 3,248	8,731	11,980	563,864	△ 29,187	2,724	31,911
子会社・関連会社株式	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他有価証券	2,374,586	2,625,358	250,771	310,977	60,206	2,565,193	60,165	246,523	186,358
公社債	684,089	690,209	6,120	21,632	15,512	710,079	△ 19,870	10,359	30,229
株式	177,818	404,031	226,212	228,935	2,722	177,818	226,212	228,935	2,722
外国証券	1,323,828	1,345,339	21,511	54,933	33,422	1,488,444	△ 143,104	1,752	144,857
公社債	1,268,961	1,293,430	24,468	54,513	30,045	1,433,577	△ 140,147	1,332	141,480
株式等	54,866	51,909	△ 2,956	420	3,376	54,866	△ 2,956	420	3,376
その他の証券	107,299	104,087	△ 3,212	5,337	8,549	107,299	△ 3,212	5,337	8,549
買入金銭債権	4,550	4,689	139	139	－	4,550	139	139	－
譲渡性預金	77,000	77,000	－	－	－	77,000	－	－	－
<b>合計</b>	<b>5,495,002</b>	<b>5,848,049</b>	<b>353,047</b>	<b>502,421</b>	<b>149,373</b>	<b>5,713,081</b>	<b>134,968</b>	<b>431,344</b>	<b>296,375</b>
公社債	3,264,545	3,376,084	111,538	204,238	92,699	3,292,069	84,014	192,348	108,334
株式	177,818	404,031	226,212	228,935	2,722	177,818	226,212	228,935	2,722
外国証券	1,861,753	1,880,016	18,262	63,665	45,402	2,052,308	△ 172,291	4,477	176,769
公社債	1,806,887	1,828,106	21,219	63,244	42,025	1,997,441	△ 169,335	4,057	173,392
株式等	54,866	51,909	△ 2,956	420	3,376	54,866	△ 2,956	420	3,376
その他の証券	107,299	104,087	△ 3,212	5,337	8,549	107,299	△ 3,212	5,337	8,549
買入金銭債権	6,584	6,830	245	245	－	6,584	245	245	－
譲渡性預金	77,000	77,000	－	－	－	77,000	－	－	－

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

2. 外貨建責任準備金対応債券に係る換算差額 27,472 百万円、及び外貨建その他有価証券のうち債券に係る換算差額の一部 190,606 百万円については、為替差損益として損益計算書に計上しています。

3. 市場価格のない株式等および組合等は本表から除いています。

4. 投資事業組合は「市場価格のない株式等および組合等の帳簿価額」に含めて開示していますが、投資事業組合が保有する「その他有価証券」の評価差額については持分相当額 132 百万円を投資事業組合の貸借対照表価額に含めて計上しています。

・市場価格のない株式等および組合等の帳簿価額は次のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	2021 年度末	2022 年度末
子会社・関連会社株式	1,631	1,279
その他有価証券	7,543	7,472
国内株式	7,543	7,472
<b>合計</b>	<b>9,174</b>	<b>8,752</b>

## ■金銭の信託の時価情報（一般勘定）

2021年度末、2022年度末ともに該当する残高はありません。

## ■デリバティブ取引の時価情報〔ヘッジ会計適用・非適用分の合算値〕（一般勘定）

### 1. 定性的情報

#### (1) 利用目的

当社では、主に資産または負債のリスクヘッジを目的にデリバティブ取引を行っています。

資産の安定的な運用のため現物資産に係る市場リスクなどのヘッジやコントロール、個人変額保険・個人変額年金保険に係る最低保証リスク（最低保証に関する責任準備金の変動による期間損益の変動リスク）の軽減を目的として利用しています。

#### (2) 取引の内容

運用対象としているデリバティブ取引は以下の通りです。

- ① 株式関連 国内外株価指数先物取引・国内外株価指数オプション取引・個別株券オプション取引等
- ② 債券関連 国内債券先物取引・国内外債券オプション取引
- ③ 通貨関連 先物為替予約取引・通貨オプション取引・通貨スワップ取引
- ④ 金利関連 金利スワップ取引

#### (3) リスクの内容

デリバティブ取引のリスクには、市場関連リスクと信用リスク並びに事務リスク・法務リスクがあります。

##### ① 市場関連リスクについて

市場リスクにはヘッジ対象である株式、債券、通貨の価格変動や金利変動によってもたらされるリスクに加えて、オプション取引に見られるような市場変動性（ボラティリティ）など、デリバティブ固有のリスクも含まれています。

従って、市場リスクについては現物資産と合わせたポジション管理を行うと同時にデリバティブ取引そのもののリスクのモニタリングも行っています。

##### ② 信用リスクについて

デリバティブ取引に付随する取引相手先のデフォルト（債務不履行）により、デリバティブ・ポジションから期待する経済効果を得られない信用リスクについて認識し、管理しています。

##### ③ 事務リスク・法務リスクについて

当社のデリバティブ取引実行に際しては取引実行部門と独立した事務管理部門が取引先の管理部門と照合を行うなど、相互牽制機能が働く体制としています。また、取引開始に際しては契約書の内容精査など法務リスクに配慮し、状況に応じて弁護士など専門家の意見を聴取するなどの対応を行っています。

#### (4) リスク管理体制

当社では取引実行部門とリスク管理担当部門を分離独立させ、相互牽制機能が発揮できる体制を確立しています。

具体的な管理・報告体制は以下の通りです。

- ① 価格変動リスクのモニタリングとリスク管理担当への報告
- ② 価格変動リスクのモニタリングとリスク管理責任者への報告
- ③ 市場関連リスク管理分会、信用リスク管理分会への報告
- ④ リスク管理会議への報告
- ⑤ 経営会議、取締役会への報告
- ⑥ 監査部門による規定遵守状況確認

### 2. 定量的情報

#### (1) 差損益の内訳（ヘッジ会計適用分・非適用分の内訳）

（単位：百万円）

	区分	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計
2021年度末	ヘッジ会計適用分	2	-	-	-	-	2
	ヘッジ会計非適用分	-	△ 50.107	△ 58	-	-	△ 50.165
	合計	2	△ 50.107	△ 58	-	-	△ 50.162
2022年度末	ヘッジ会計適用分	0	-	-	-	-	0
	ヘッジ会計非適用分	-	△ 21.529	2	-	-	△ 21.527
	合計	0	△ 21.529	2	-	-	△ 21.526

（注）ヘッジ会計非適用分の差損益については、損益計算書に計上しています。

## (2)金利関連

(単位：百万円)

区分	種類	2021年度末				2022年度末			
		契約額等	うち1年超	時価	差損益	契約額等	うち1年超	時価	差損益
店頭	金利スワップ								
	固定金利受取/変動金利支払	200	200	2	2	200	-	0	0
	固定金利支払/変動金利受取	-	-	-	-	-	-	-	-
	変動金利受取/変動金利支払	-	-	-	-	-	-	-	-
合計					2				0

(注) 差損益欄には、時価を記載しています。

## 〈参考〉金利スワップ残存期間別残高

(単位：百万円、%)

区分	種類	残存期間別残高							合計
		1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超		
2021年度末	受取側固定スワップ想定元本	-	200	-	-	-	-	-	200
	平均受取固定金利	-	1.43	-	-	-	-	-	1.43
	平均支払変動金利	-	0.59	-	-	-	-	-	0.59
	支払側固定スワップ想定元本	-	-	-	-	-	-	-	-
	平均受取変動金利	-	-	-	-	-	-	-	-
	平均支払固定金利	-	-	-	-	-	-	-	-
	支払/受取共に変動スワップ想定元本	-	-	-	-	-	-	-	-
	平均受取変動金利	-	-	-	-	-	-	-	-
	平均支払変動金利	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	-	200	-	-	-	-	-	200
2022年度末	受取側固定スワップ想定元本	200	-	-	-	-	-	-	200
	平均受取固定金利	1.43	-	-	-	-	-	-	1.43
	平均支払変動金利	0.60	-	-	-	-	-	-	0.60
	支払側固定スワップ想定元本	-	-	-	-	-	-	-	-
	平均受取変動金利	-	-	-	-	-	-	-	-
	平均支払固定金利	-	-	-	-	-	-	-	-
	支払/受取共に変動スワップ想定元本	-	-	-	-	-	-	-	-
	平均受取変動金利	-	-	-	-	-	-	-	-
	平均支払変動金利	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	200	-	-	-	-	-	-	200

## (3)通貨関連

(単位：百万円)

区分	種類	2021年度末				2022年度末			
		契約額等	うち1年超	時価	差損益	契約額等	うち1年超	時価	差損益
店頭	為替予約								
	売建	851,070	-	△ 50,629	△ 50,629	844,276	-	△ 21,696	△ 21,696
	米ドル	197,353	-	△ 14,800	△ 14,800	225,280	-	△ 3,536	△ 3,536
	ユーロ	615,143	-	△ 31,453	△ 31,453	564,014	-	△ 18,653	△ 18,653
	その他の通貨	38,573	-	△ 4,376	△ 4,376	54,981	-	493	493
	買建	699	-	33	33	401	-	△ 5	△ 5
	米ドル	699	-	33	33	401	-	△ 5	△ 5
	通貨スワップ	5,700	5,700	488	488	5,700	5,700	171	171
	円払/豪ドル受	5,700	5,700	488	488	5,700	5,700	171	171
	合計				△ 50,107				△ 21,529

(注) 1. 年度末の為替相場は先物相場を使用しています。

2. 外貨建金銭債権債務等に先物為替予約が付されていることにより決済時における円貨額が確定している外貨建金銭債権債務等で、貸借対照表において当該円貨額で表示されているものについては、開示の対象から除いています。

3. 差損益欄には、時価を記載しています。

#### (4) 株式関連

(単位：百万円)

区分	種類	2021 年度末				2022 年度末			
		契約額等	うち1年超	時 価	差損益	契約額等	うち1年超	時 価	差損益
店頭	株価指数先渡 売建	492	—	△ 58	△ 58	302	—	2	2
	合計				△ 58				2

(注) 差損益欄には、時価を記載しています。

#### (5) 債券関連

2021 年度末、2022 年度末ともに該当する残高はありません。

#### (6) その他

2021 年度末、2022 年度末ともに該当する残高はありません。